

平成28年度  
(公社)全日本鍼灸学会通常総会  
資 料

同封の委任状をお忘れ無く  
ご返信のほどお願い申し上げます

日 時 平成28年6月11日(土) 13:00~14:00

場 所 札幌コンベンションセンター  
〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

# 平成28年度（公社）全日本鍼灸学会 通常総会資料目次

平成28年度通常総会開催通知	1
平成28年度通常総会式次第	2
I. 議案	
1. 平成27年度事業報告	3
2. 平成27年度決算報告・監査報告	
貸借対照表	22
正味財産増減計算書	23
正味財産増減計算書内訳表	24
財産目録	26
注記表	27
附属明細書	28
監査報告書	29
3. 役員を選任	30
4. 規程の変更	
役員選任規程案の件	31
5. 名誉会員の件	34
6. その他	34
II. 報告	
1. 平成28年度事業計画	35
2. 平成28年度予算	46
3. 規程の変更	
会務運営規程	49
委員会規程	52
支部運営規程	55
4. 第67回学術大会開催地の件	57
5. 第66回大会準備報告	57
6. その他	57

平成28年5月10日

(公社) 全日本鍼灸学会  
会 員 各 位

(公社) 全日本鍼灸学会  
会長 後藤 修司

## 平成28年度通常総会開催通知

平成28年度通常総会を下記により開催いたしますのでご通知申し上げます。

### 記

日 時 平成28年6月11日(土) 13:00～14:00

会 場 札幌コンベンションセンター  
北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1 TEL 011-817-1010

議 案 第1号議案 平成27年度事業報告  
第2号議案 平成27年度決算報告・監査報告  
第3号議案 役員を選任  
第4号議案 規程の変更  
第5号議案 名誉会員の件  
第6号議案 その他

報 告 1. 平成28年度事業計画  
2. 平成28年度予算  
3. 規程の変更  
4. 第67回学術大会開催地の件  
5. 第66回学術大会準備報告  
6. その他

※ 総会出欠葉書(委任状)は総会の出欠にかかわらず必ずご投函下さい。

以 上

## 平成28年度（公社）全日本鍼灸学会 通常総会

日 時：平成28年6月11日（土）13:00～14:00

場 所：札幌コンベンションセンター

### 次 第

- |                       |                 |               |       |
|-----------------------|-----------------|---------------|-------|
| 1. 開会の辞               |                 | 司 会           | 事務局長  |
| 2. 挨拶                 |                 | 副会長           | 久光 正  |
| 3. 議長選出               |                 | 会 長           | 後藤 修司 |
| 4. 定足数の確認             | 総社員数            | 2,917名        |       |
|                       | 出席社員数           |               |       |
|                       | 内訳              | 本人出席          | 名     |
|                       |                 | 委任状出席         | 名     |
|                       |                 | 総社員の議決権数      | 個     |
|                       |                 | 出席社員数の議決権数    | 個     |
| 5. 議事録署名人は定款第20条により議長 |                 |               |       |
| 6. 議 事                |                 |               |       |
| 第1号議案                 | 平成27年度事業報告      | 事務局長          |       |
| 第2号議案                 | 平成27年度決算報告・監査報告 | 財務部長、監事       |       |
| 第3号議案                 | 役員を選任           |               |       |
| 第4号議案                 | 規程の変更           | 定款等改正検討委員会委員長 |       |
| 第5号議案                 | 名誉会員の件          | 副会長           |       |
| 第6号議案                 | その他             |               |       |
| 報 告                   |                 |               |       |
| (1) 平成28年度事業計画        |                 | 事務局長          |       |
| (2) 平成28年度予算          |                 | 財務部長          |       |
| (3) 規程の変更             |                 | 定款等改正検討委員会委員長 |       |
| (4) 第67回学術大会開催地の件     |                 | 学術部長          |       |
| (5) 第66回学術大会準備報告      |                 | 学術部長          |       |
| (6) その他               |                 |               |       |
| 7. 閉会の辞               |                 | 副会長           | 安藤 文紀 |

## 第1号議案 事業報告

### 1. 平成27年度 事業報告（総括）

I. 事業の内容：法人の目的を遂行するために次の事業を行った。

#### 1. 学術大会及び学術教育事業

##### 1) 第64回（公社）全日本鍼灸学会学術大会（ふくしま大会）

平成27年5月22日・23日・24日の3日間：ビックパレットふくしま

参加総数：1,352人

##### 2) 支部学術集会の開催

①北海道支部：平成27年11月15日：札幌サンプラザ

②東北支部：平成27年12月6日：福島医療専門学校

③関東支部：平成27年11月8日：東京有明医療大学

④中部支部：平成27年11月8日：愛鉄連厚生年金会館

⑤近畿支部：平成27年11月29日：明治東洋医学院専門学校

⑥中国四国支部：平成27年11月22日・23日：アークホテル岡山

⑦九州支部：平成27年10月4日：ホルトホール大分 大会議室

##### 3) 学術部委員会開催

4) 第64回（ふくしま大会）・第65回（北海道大会）学術大会の企画、準備支援  
新たな学術大会を目指し検討

##### 5) 高木賞選考委員会の開催

6) WFAS Tokyo/Tsukuba 2016 実行委員会開催およびトロント大会における広報活動、大会ホームページ開設し情報を順次掲載

#### 2. 学会雑誌の発行事業（学会誌、学術図書及び資料の刊行）

##### 1) 全日本鍼灸学会雑誌の発行

##### 2) その他

#### 3. 調査研究事業（調査研究の実施）

##### 1) 研究・教育・啓発に関する事業

##### 2) 研究助成に関する事業

##### 3) その他

#### 4. 学術交流事業（内外関連学協会との連絡及び協力）

##### 1) 海外鍼灸関連情報の収集と日本への紹介

##### 2) 日本鍼灸関連情報の海外への紹介

##### 3) WHO、WFASその他の国際機関との対応

##### 4) 海外の鍼灸関連学協会との交流

#### 5. 研究の奨励及び研究業績の表彰

高木賞の選考及び表彰、学生ポスター発表表彰

#### 6. 組織の拡充及び支部活動事業（組織拡充及び支部活動の助成）

##### 1) 支部運営委員会の開催

##### 2) 新卒業生に対する会長表彰

##### 3) 学生会員から正会員への切替促進活動

##### 4) 会員異動の把握、会員名簿管理

##### 5) その他

#### 7. 広報活動の充実

##### 1) Webサイトの更新、作成

- 2) メールマガジンの編集及び発行
- 3) その他
- 8. JLOM 関連委員会
  - 1) ISO/TC249 関連
  - 2) ISO/TC215 関連
  - 3) WHO 関連事業について
- 9. 認定委員会
  - 1) 認定指定講習の審査
  - 2) 認定審査委員会
  - 3) 認定実務委員会
  - 4) 認定試験委員会
- 10. グランドデザイン改革推進委員会
  - 1) 進捗状況により調査、評価。常務理事会・理事会への提言
  - 2) 会員増加、人材育成、運営改革、組織・活動の見直し
  - 3) 委員会開催

## II. 各種会議の開催

---

---

## 2. 平成27年度 各部事業報告

---

---

1) 平成27年度 事務局事業報告
-------------------

### I. 会務運営のための諸会議に関する事、及び会議録の作成並びに保管

#### 1. 通常総会

- 1) 平成27年 5月23日(土) : ビックパレットふくしま

#### 2. 諮問委員会

- 1) 平成27年 5月22日(金) : ビックパレットふくしま
- 2) 平成27年11月29日(日) : 東京衛生学園専門学校
- 3) 平成28年 3月13日(日) : 東京衛生学園専門学校

#### 3. 理事会

- 1) 平成27年 4月19日(日) : 日本鍼灸会館
- 2) 平成27年 5月22日(日) : ビックパレットふくしま
- 3) 平成27年 7月26日(日) : 日本鍼灸会館
- 4) 平成27年11月29日(日) : 東京衛生学園専門学校
- 5) 平成28年 2月14日(日) : 東京医療専門学校
- 6) 平成28年 3月13日(日) : 東京衛生学園専門学校

#### 4. 常務理事会

- 1) 平成27年 7月26日(日) : 日本鍼灸会館
- 2) 平成28年 2月14日(日) : 東京医療専門学校

#### 5. 支部運営委員会

- 1) 平成27年 5月22日(日) : ビックパレットふくしま

#### 6. その他の会議

- 1) 予算編成会議(平成28年1月24日): 日本鍼灸会館
- 2) 各部委員会及び各部小委員会

### II. 庶務・事務局及び職員に関する事

1. 事務局備品、事務消耗品等の在庫管理
2. 会員情報の管理

### III. 庶務に関する事及び各部の所管に属しない事項

1. 理事会議題資料の収集、整理、作成並びに開催通知の送付
2. 通常総会資料および委任状作成に関する業務
3. 役員および諮問委員改選に係る関連作業
4. 現金出納処理管理および各業者支払および関係部署へ送金
5. 顧問税理士指導による会計処理入力
6. 講師謝礼源泉徴収簿の各支部・編集部・研究助成金受給者確認業務
7. 本部会計および支部会計並びにふくしま大会の会計監査業務
8. 北海道大会・東京大会会計処理業務対応
9. 北海道大会演題発表者資格確認業務及び学術大会会員資格確認業務
10. 関連団体学術大会後援名義の承諾・学術大会及びWFAS2016後援名義使用許可依頼
11. 第65巻2・3・4号、66巻1号雑誌及びふくしま大会抄録集発送事務処理
12. ふくしま大会支援事務委託業者東武トップツアーズ株式会社との関連業務対応

13. ふくしま大会支援委託業者対応および業務処理再確認作業及び打合せ対応
14. WFAS2016支援業者契約書対応・調印、会計処理その他支援業務
15. 研究助成公募残務処理
16. 編集部投稿原稿回付
17. 雑誌広告費請求・収納、掲載データ管理ならびに28年度広告掲載募集作業
18. 別刷り印刷費請求・収納
19. 雑誌返戻会員の対応作業
20. 各種問合せへの対応
21. 海外会員、賛助会員への請求書発送・収納
22. 新規入会者の会員名簿登録及び雑誌送付作業
23. 退会・住所変更など会員名簿保守作業
24. 入会申込不備者への通知作業
25. 会費未納者への督促状発送（27年10月及び28年1月郵送）及び電話対応
26. JCBとの連絡、情報確認、請求データ作成、引落者へ領収書送付及び関連後処理
27. 新卒業生対象会長表彰に係る業務
28. 学校取り纏め学生会員の募集
29. ファックスマガジン発信管理及びメールマガジン送信者登録
30. 認定登録・更新の案内、試験に関する対応、登録手続及び認定証発送手配
31. 認定指定講習会状況の記録入力
32. 認定指定講習会一覧原稿各支部へ依頼および印刷依頼校正・発送依頼
33. 認定講習履修ポイント確認用ホームページへのアップ作業
34. 平成27年度認定ポイント計算プログラムの準備依頼

#### IV. 官公庁及び鍼灸関連団体との渉外に関すること

1. 官公庁、諸団体からの文書、書簡の整理、保管
2. 内閣府への年次報告書提出
3. 厚生労働省へ学術大会及びWFAS2016の後援名義依頼および収支報告業務
4. 文部科学省へ学術大会及びWFAS2016の後援名義依頼および収支報告業務
5. 鍼灸関連団体との連絡調整

#### V. 公益法人に関すること

1. 内閣府への報告

2) 平成27年度 学術部事業報告
-------------------

##### I. 学術部の基本方針

鍼灸における「学」と「術」を根拠に基づいた医療（EBM: evidence-based medicine）、根拠に基づいた鍼灸医療（EBAM: evidence-based acupuncture medicine）として質を高め、患者に安全で効果的な鍼灸医療を実践できるための成果発表や情報交換、卒前・卒後教育の場、「学会に参加して勉強になった」という学会・学術大会を目指す。

- ・エビデンスに基づく「学」と「術」を発展させるための場の企画・提供
- ・エビデンスに基づく卒後教育・生涯教育としての場の企画・提供



## II. 学術大会における企画・方向性：

学術的議論企画、鍼灸社会学的企画、生涯教育・人材育成企画

第64回(公社)全日本鍼灸学会学術大会（東北支部担当：平成27年、2015年）

2015年5月22-24日「ビッグパレットふくしま」

1. 「学」と「術」の質の向上  
(研究過程・成果の発表、ディスカッション、批判的吟味の場の提供)
  - ・ふくしま大会における一般演題の企画：  
演題募集、抄録審査、演題採否、セッション、座長選任
2. 最新の鍼灸・医療情報提供（鍼灸師生涯教育）
  - ・セミナー「ここまでわかった鍼灸医学：しびれに対する鍼灸治療の効果と現状」
  - ・教育セミナー「痛みに対する鍼灸の最新事情」
3. 根拠に基づいた鍼灸医療が実践できる鍼灸師育成（生涯教育・人材育成）
  - ・臨床研究ステップアップ・ワークショップセミナー「第4回臨床研究の道標」
  - ・サテライトステップセミナー「頸肩四肢症状に対する病態把握と鍼灸治療」  
「排尿障害に対する病態把握と鍼灸治療」
4. これからの鍼灸師を育てる(卒前教育)
  - ・鍼灸臨床ゼミナール「肩こりの病態と鍼灸治療」
5. 2016年北海道大会における本部・学術部・研究部の継続した企画（予定）
  - ・セミナー（ここまでわかった鍼灸医学）：学術部
  - ・教育セミナー：学術部
  - ・パネルディスカッション：スポーツ委員会関連
  - ・パネルディスカッション：医療推進関連
  - ・パネルディスカッション（鍼灸と国際問題）：JLOM関連委員会
  - ・ワークショップ（ステップアップ鍼灸臨床研究）：学術部、研究部
  - ・ワークショップ（安全性委員会、データベース委員会）：研究部
  - ・ゼミナール（鍼灸臨床ゼミナール）：学術部
  - ・サテライトステップアップセミナー：学術部
  - ・チャリティーマラソン大会：スポーツ鍼灸委員会主催
  - ・その他：高木賞表彰式、高木賞授賞講演、学生ポスター発表、学生ポスター表彰式
  - ・会議関係：  
理事会、支部運営委員会、顧問参与会議、諮問委員会、鍼灸学術団体協議会

## III. 学術部の事業

1. 学術部委員会の開催（年2回）
  - ・2015年8月31日（日）京都：明治国際医療大学統合医療センター  
内容：学術部の基本方針、ふくしま大会の結果、北海道大会・東京大会の準備状況、今後の学術大会について（KJ法を用いた検討）など
  - ・2016年2月6日（日）京都：明治国際医療大学 京都駅前キャンパス  
内容：今後の学術部活動、北海道大会・東京大会の準備状況、学生ポスター発表の抄録審査など
2. 学術大会の企画・支援  
第64回（公社）全日本鍼灸学会学術大会（東北支部担当：平成27年、2015年）  
2015年5月22-24日「ビッグパレットふくしま」

- ・ 2015年05月03日（日）：郡山市 企画調整委員会（福田、伊藤）
- ・ 2015年05月17日（日）：郡山市 企画調整委員会（伊藤）
- ・ 企画調整委員会メール会議（福田、伊藤）

第65回(公社)全日本鍼灸学会学術大会（北海道支部担当：平成28年、2016年）

2016年6月10-12日「札幌コンベンションセンター」

- ・ 2015年04月04日（土）：札幌市 企画運営委員会（福田）
- ・ 2015年05月16日（土）：札幌市 企画運営委員会（福田）
- 05月17日（日）：札幌市 プログラム委員会（福田）
- ・ 2015年07月04日（土）：札幌市 企画運営委員会（福田）
- 07月05日（日）：札幌市 第1回実行委員会（福田）
- ・ 2015年08月01日（土）：札幌市 企画運営委員会（福田）
- ・ 2015年09月12日（土）：札幌市 企画運営委員会（福田）
- ・ 2015年11月14日（土）：札幌市 企画運営委員会（福田）
- ・ 2016年03月05日（土）：札幌市 企画運営委員会（伊藤、谷口）
- ・ 企画調整委員会メール会議（福田、伊藤）

第66回(公社)全日本鍼灸学会学術大会（関東支部担当：平成29年、2017年）

2017年06月09日（金）-11日（日）「東京大学構内」

（金曜日：会議のみ、学術大会は土日）

- ・ 2015年04月11日（土）：東京都 準備委員会（福田）
- ・ 2015年05月10日（日）：東京都 準備委員会（福田）
- ・ 2015年09月19日（土）：東京都 企画調整委員会・スカイプ会議（福田、伊藤）
- ・ 2015年10月29日（木）：東京都 準備委員会（伊藤）
- ・ 2015年12月19日（土）：東京都 プログラム委員会（福田）
- ・ 2016年01月31日（日）：東京都 実行委員会（福田、伊藤）
- ・ 2016年02月20日（土）：東京都 プログラム委員会（福田）
- ・ 企画調整委員会メール会議（福田、伊藤）

3. 高木賞選考委員会の開催

- ・ 2015年11月29日（日）09:00～10:00 対象論文数 3編：  
全日本鍼灸学会雑誌 2014年Vol.64(1-4)、Online journal「JAM」に掲載された原著論文  
高木賞：基礎部門・臨床部門 該当なし  
高木賞奨励賞  
腰痛患者に対する鍼治療 ―日本で実施されたRCTのシステマティックレビュー―  
下市善紀、春木淳二、若山育郎（関西医療大学 鍼灸学ユニット）  
全日本鍼灸学会雑誌、64巻1号、37-53頁、2014.

IV. 「グランドデザイン2020」に基づく改革状況

1. 学術大会の見直し

2017年開催の第66回（公社）全日本鍼灸学会学術大会（関東支部担当）から新たな学術大会を目指して学術部会議で検討を行っている。

2. 日常臨床に役立つ最新の知識や技術が習得できる企画、立案、実施（スキルアップセミナー、e-ラーニング含む）

学術部会議で検討を行っている。

3) 平成27年度 研究部事業報告
-------------------

**I. 会議**

1. 研究部運営・依頼作業関連
  - 1) 研究部長・学術部長によるふくしま大会プレスリリース打合せ  
2015年5月9日(土) 14:00~16:00 大阪阪急グランドビル内 Slow Caféにて
  - 2) 研究部長・学術部正副部長による部門再編に関する会議  
2015年7月16日(水) 19:30~21:00 京都駅ビル内にて
  - 3) 研究部長・学術部長・専門学校教員による部門再編および教育研修に関する会議  
2015年10月1日(水) 19:00~21:00 阪急梅田駅地下にて
  - 4) 鍼電極低周波治療器の学会勧告に関する問合せ内容の検討と回答作成会議  
2015年10月23日(金) 18:00~21:00 新橋駅前喫茶店にて
2. データベース(DB)委員会
  - 1) DBメンテナンス班会議  
2015年11月20日 14:00~17:00 AGREX 札幌支社にて
3. 安全性委員会
  - 1) 第1回安全性委員会会議  
2015年5月23日(土) 16:00~17:00 ビッグパレットふくしまにて
  - 2) 第2回安全性委員会会議  
2015年10月3日(土) 13:30~15:00 キャンパスプラザ京都にて
4. 診療ガイドライン委員会
  - 1) 研究部長と鈴木委員長による委員会方針に関する会議  
2015年8月6日(木) 20:30~21:30 南森町駅前にて
5. その他の会議
  - 1) 厚労科研知財関連会議  
2015年12月19日(土) 13:30~17:30  
八重洲ダイビル国立遺伝学研究所連絡所にて

**II. 研究・教育・啓発に関する事業**

1. DB委員会(高橋則人委員長)
  - 1) 鍼灸文献データベース(JACLiD)所蔵文献のキーワード抽出・付与作業  
(主として財団助成金、一部学会予算にて)
  - 2) JACLiDのホームページの改訂
2. 安全性委員会(新原寿志委員長)
  - 1) ふくしま大会ワークショップ「鍼治療に対する国内公的保健衛生機関の見解と今後の課題」
  - 2) Webサイト「鍼灸の安全対策」の維持管理・更新(<http://safety.jsam.jp/>)
  - 3) 鍼灸の安全性に関する多施設前向き調査の集計・分析
  - 4) ISO/TC249鍼の感染防止対策ガイドラインに対する対応
  - 5) 鍼灸の感染制御・有害事象対策ガイドライン作成準備
  - 6) 鍼灸の安全性教育ビデオの作成
  - 7) 肝炎に関する記事における鍼灸の取扱いに対する対応(抗議文、問合せ)
3. 診療ガイドライン委員会(鈴木雅雄委員長)
  - 1) 診療ガイドライン作成のロードマップ試作
  - 2) 診療ガイドラインのモデルケース作成可能性検討

#### 4. AcuPOPJ 関連

山下部長が普及啓発作業部会から卒後研修作業部会に異動

### III. 研究助成に関する事業

1. 平成23・24年度公募研究助成の研究期間再々延長1件

### IV. その他

1. C型肝炎に関して誤解を招く記事への対策

日本鍼灸師会と共同で「NHK きょうの健康」4月号の記載内容に関するNHK出版への抗議 および修正依頼の文案を作成

2. WFAS Tokyo/Tsukuba 2016準備への参画
3. NHK松山放送局からの鍼灸関連情報提供依頼に協力
4. ホームページ問い合わせに対する回答作成協力
  - 1) シーハン症候群についての問合せ
  - 2) 「鍼電極低周波治療器の安全確保のための基準に関する勧告」に関する問い合わせ

## 4) 平成27年度 編集部事業報告

### I. 学会誌の編集に関すること

1. 学会雑誌の発行
  - (公社) 全日本鍼灸学会雑誌65巻2号：平成27年 5月発行
  - (公社) 全日本鍼灸学会雑誌65巻3号：平成27年 8月発行
  - (公社) 全日本鍼灸学会雑誌65巻4号：平成27年11月発行
  - (公社) 全日本鍼灸学会雑誌66巻1号：平成28年 2月発行

### II. 編集委員会

1. 開催
  - 1) 第1回 平成27年 6月27日 65(3)の掲載論文等を審議
  - 2) 第2回 平成27年10月26日 65(4)の掲載論文等の審議
  - 3) 第3回 平成27年12月12日 66(1)の掲載論文等を審議
2. 報告
  - 1) JAMのISSN取得
  - 2) JAMのJ-STAGE掲載の決定(平成27年11月9日)
  - 3) ふくしま大会座長推薦論文の実施
3. 新規連載計画案  
下記の連載タイトルについて検討したが、実施までには至らなかった。
  - 1) リレーエッセイ
  - 2) トランスレーショナルリサーチ
  - 3) 『高木賞を受賞して』
  - 4) 編集部からのお知らせ
  - 5) 論文の書き方及びワークショップの実施
  - 6) 統計の使い方

#### 4. 掲載論文

65(2)～66(1)までに掲載した論文

原著7編；鍋田論文・友岡論文・小川一論文・伊佐治論文・高梨論文・加藤論文・石神論文

報告2編；安藤論文・泉論文

臨床体験レポート3編；山形論文・山田論文・高畑論文

短報；泉論文

編集者への手紙；櫻庭論文・岩元論文・池宗論文・金子論文・渡邊論文・櫻庭論文

#### 5. 投稿論文の取り扱いについて

1) 365論文：「呼吸時の鍼刺入抵抗の変化の解析」の内容から検討の諾否を理事会に提案し、学会誌で取り扱う論文の基本方針を確認することにした。

2) 投稿論文の紛失

平成27年5月7日・13日に事務局に届いた論文を編集委員長に送付したが、紛失したことが投稿者からの採否の確認を受けて調査、判明した。

#### 6. 編集委員長の交代

1) 新編集委員長の選出

平成27年11月29日開催の理事会において編集部長と編集委員長の兼務が解消されたことを受け、新編集委員長が選出された。筑波技術大学教授 野口栄太郎先生が就任した。

2) 業務引継

①上級演題、投稿論文、連載予定論文の引き継ぎ。

②平成27年度収載原著論文の翻訳

③JAMのPMC収載

JAMをJ-STAGE及び米国国立医学図書館（National Library of Medicine）が運営する1次情報データベースのPub Med Central（PMC）への収載作業。

#### 作業が完了した項目

A. ライフクリエーションでJAMのホームページの体裁を年毎に区分けした。

B. ISSNを取得した。

ISSN 2189-5724 Japanese acupuncture and moxibustion

C. JAMのJ-STAGE収載の決定が決定した。

#### 引き継ぎ項目

D. JAM掲載論文に個別のDigital Object Identifier（DOI）の付与（平成28年度に実施される予定）

E. PMCに収載申請

a. 2012年以前の論文はTXT形式でないためテキスト化

b. JAMをJ-STAGE用に加工

c. PMCによるJAMの内容審査

d. 50編の英語論文を送付しテスト運用5,000/50論文=250,000円

e. 正式契約

F. 新規論文の掲載（追加収載の経費は1論文あたり約30,000円）

5) 平成27年度 組織部事業報告

I. 支部運営の支援

1. 支部運営委員会の開催 計3回

II. 新卒業生に対する会長表彰について

- |           |      |
|-----------|------|
| 1. 案内文送付  | 122校 |
| はき養成施設等   | 44校  |
| 視覚特別支援学校等 | 71校  |
| 大学        | 7校   |
| 2. 表彰の申請校 | 67校  |
| はき養成施設等   | 44校  |
| 視覚特別支援学校等 | 12校  |
| 大学        | 11校  |

- III. 本部学生会員から正会員へ切替の案内送付 36名

- IV. 学校取り纏め学生会員の勧誘依頼 34校

- V. 日本伝統鍼灸学会、日本臨床鍼灸懇話会殿へ入会金免除の覚え書締結

VI. 会費未納者へ納入依頼状の発送

1. 平成27年10月 6日 605通  
2. 平成28年 1月 5日 227通

会員動態

(公社)全日本鍼灸学会 会員数  
(都道府県別 正会員/学生会員・学校学生会員/賛助会員)

平成28年3月31日現在

都道府県	正会員数	学生会員数	都道府県	正会員数	学生会員数	都道府県	正会員数	学生会員数
北海道	113	2	長野県	40	0	高知県	11	0
青森県	9	0	岐阜県	40	0	福岡県	101	2
岩手県	9	0	静岡県	78	12	佐賀県	6	0
宮城県	30	0	愛知県	185	4	長崎県	26	0
秋田県	9	0	三重県	82	20	熊本県	33	2
山形県	8	0	滋賀県	22	0	大分県	19	1
福島県	46	2	京都府	173	4	宮崎県	17	0
茨城県	74	1	大阪府	316	7	鹿児島県	40	1
栃木県	17	0	兵庫県	105	3	沖縄県	7	1
群馬県	24	0	奈良県	37	1	国 外	10	0
埼玉県	136	10	和歌山県	23	0	正会員	2,994	
千葉県	83	3	鳥取県	18	0	学生会員	122	
東京都	531	28	島根県	9	0	学校学生会員	1,481	
神奈川県	193	11	岡山県	49	1	賛助会員	28	
新潟県	26	1	広島県	31	1	総 計	4,625	
山梨県	7	0	山口県	25	0			
富山県	34	0	徳島県	5	0			
石川県	41	0	香川県	25	2			
福井県	18	1	愛媛県	53	1			

※名誉会員5名は、正会員に含む

平成27年度入会者(正会員・学生会員) **268名**

※関連学会からの入会者を含む

日本伝統鍼灸学会 **6名**

日本臨床鍼灸懇話会 **0名**

平成27年度退会者(正会員・学生会員) **286名**

(学校学生会員は、上記入退会者の数に含めない)

6) 平成27年度 国際部事業報告

I. 海外鍼灸関連情報の収集と日本への紹介

学会誌「国際部報告」にて以下の報告を行った。

1. WFASトロント大会報告. 66巻1号. 43-51. (若山育郎、石崎直人、斉藤宗則、深澤洋滋、増山祥子、知久すみれ、形井秀一)

II. 日本鍼灸関連情報の海外への紹介

1. 広報部の援助のもと学会英文ホームページの改訂作業を行った。
2. 海外研究発表助成の応募を受け、厳正に審議した結果1名を選出した。  
助成者 知久すみれ (筑波大学大学院)  
Effect of acupuncture on swallowing function in elderly individuals  
(WFASトロント大会で学生ポスター賞2位を獲得)

III. 世界保健機関 (WHO)、世界鍼灸学会連合会 (WFAS)、その他の国際機関との対応

1. WFASカナダトロント大会および執行理事会に国際部員4名が出席した。
2. トロント大会においてWFAS Tokyo/Tsukuba 2016のブースを作り、プロモーションビデオを映写、1stサーキュラーを配布等の広報活動を行った。
3. WFAS事務局の依頼により、日本の功労者2名 (黒須幸男、津谷喜一郎、いずれも副会長経験者) へのインタビューを行い、ビデオメッセージを作成、事務局に送付した。ビデオは、2017年WFAS設立30周年記念回顧録 (memoir) 作成に用いられる予定。
4. WHO working group meeting on practice in acupunctureに関する依頼に対応した。

IV. 海外の鍼灸関連学協会との交流

1. 2015年福島大会において予定していた第7回日韓鍼とEBMワークショップの開催が韓国側からの要請で中止になったが、同じテーマで、2016年北海道大会でワークショップを開催することとし、研究部とともにその準備を行った。
2. 学術部とともに2004年に締結した日韓交流覚書の改訂作業を行った。

V. その他

1. 国際部宛の海外からの問い合わせに対応した。
  - 1) 臨床研修に関する問い合わせ 2件 (インド、ブラジル)
  - 2) 米国人患者からの鍼灸師紹介依頼1件
  - 3) 日本の鍼灸の教育制度に関する問い合わせ1件 (米国)
  - 4) AACMA (Australian Acupuncture & Chinese Medicine Association Ltd) 1件
2. 昨年度、英国David Mayor氏より鍼通電に関して本学会会員を対象としたアンケート調査の依頼があり、ウェブ上でアンケートを実施した (回答者74名) が、その研究成果が論文になったとの知らせがあり、その論文をホームページ上で紹介した。



7) 平成27年度 広報部事業報告
-------------------

**I. Webサイトの更新、作成** <http://jsam.jp/>

1. Top「トピックス」「お知らせ」の更新作業、バナー作成、アクセス解析、topページマナーチェンジ
2. 「支部学術集会・支部指定研修講座」の更新、データベースの集約化、認定試験をWebで実施。
3. その他 随時更新作業

**II. メールマガジンの編集及び発行**

1. 会員に学会情報を伝達する手段として発行
2. 定期便：毎月1日に発行（4月から3月号まで）
3. 学術大会特別便：学術大会情報の特別便
4. 臨時便：「トピックス」「お知らせ」「支部学術集会案内」等の情報伝達のために随時発行
5. 平成28年3月31日現在登録者3038件(PC2693名 携帯345名)、平成27年は2987件(PC2618名 携帯330名) 51件増
6. FAXマガジン配信 希望者（100名）

**III. 研修会情報**

1. 認定講習会情報  
一覧を年4回発行（学会誌同封発行）
2. 他媒体に掲載依頼及び情報提供
3. 国民のための鍼灸医療推進機構への提供

**IV. 英語版Webサイトの作成、更新、改訂** <http://en.jsam.jp/>

英語版HPの作成、更新、改訂を国際部と共同で行った。

**V. 外国人短期見学者の受け入れ先について**

Webサイト掲載により受け入れ先参加者の募集を行った。

**VI. 外国人短期見学者の受け入**

国際部と共同で受け入れに対応している（英語版Webサイトに受け入れ情報を掲載中）。

**VII. 学術大会Webサイト管理**

65回用のデザインに変更し、管理を行っている（更新作業は実行委員会にお願いしている）。

**VIII. スポーツ鍼灸委員会Webサイト作成協力**

1. スポーツ鍼灸委員会が新たに発足し、jsam.jpのサブドメインとしてページを作成
2. サーバー管理は広報部、コンテンツ管理はスポーツ鍼灸委員会が行う

**IX. メーリングリストの再構築**

サーバー移動に伴って、メーリングリストが2種類存在していたものを1種類に統合した。

X. その他の広報活動

1. WFAS Tokyo/Tsukuba 2016に対する広報活動
2. AcuPOPJ 普及啓発作業部会への委員の派遣
3. e-ラーニング導入準備

【平成27年度アクセス件数】

月	日本語版jsam.jp解析		英語版jsam.jp解析		日本語版jsam.jp解析		英語版jsam.jp解析	
	27年度	27年度	27年度	27年度	28年度	28年度	28年度	28年度
	月合計		月合計		月合計		月合計	
	Pages	Visits	Pages	Visits	Pages	Visits	Pages	Visits
28, 03	14,399	3,405	315	150	18,133	3,859	365	120
28, 02	16,293	4,713	340	120	15,460	3,678	209	99
28, 01	11,031	2,701	208	96	14,159	3,240	337	140
27, 12	12,363	2,673	249	105	13,555	2,768	174	92
27, 11	14,194	3,067	269	108	17,099	3,725	210	107
27, 10	16,573	3,305	216	108	16,938	3,731	212	108
27, 09	14,380	2,864	232	108	16,381	3,310	246	102
27, 08	13,111	2,863	192	80	13,715	2,771	288	87
27, 07	15,679	3,137	239	99	17,251	3,482	305	94
27, 06	16,264	3,353	318	131	21,152	3,354	240	99
27, 05	18,685	4,186	261	119	23,039	4,470	259	114
27, 04	18,133	3,859	273	112	20,500	3,932	359	124
Totals	181,085	40,126	3,112	1,334	207,382	42,320	3,204	1,284
Average	15,090	3,344	259	111	17,282	3,528	267	107
平均ページ閲覧数		4.51		2.33		4.90		2.49

結果

- ・ 主な参照ページ  
Top ページ、認定者のご紹介、学術大会・研修会、学会誌・検索、会長のご挨拶、役員紹介、入会のご案内
- ・ 主な検索単語  
全日本鍼灸学会、鍼灸、鍼灸学会、鍼、学会、全日本鍼灸、日本鍼灸学会
- ・ 主なアクセス国  
和文ページ  
Japan (96.65%), USA (0.93%), China (0.29%) Brazil (0.27%), South Korea (0.25%)  
英文ページ  
Japan (40.18%), USA (17.87%), South Korea (3.18%), India (3.10%), Germany (2.95%)
- ・ WFAS Tokyo/Tsukuba 2016 のバナー及びPV のビュー数が2月25日現在各々8,500ビューを超えた。
- ・ 閲覧デバイスのmobile、tabletの占有率が34.83% (平成26年度は30.55%) となった。
- ・ 認定者紹介ページは、毎年12,000ページview以上閲覧されていることが確認できた。
- ・ 考察
  - ・ 検索単語は圧倒的に『全日本鍼灸学会』が多かった。
  - ・ 臨時メールマガジン配信日は、PagesView、Visits数が増加する傾向があった。
  - ・ 鍼灸学術情報メールマガジン配信日は、通常の臨時メルマガ配信日よりPagesView、Visits数がおおよそ2倍になる傾向があった。今後はこのような情報の配信の必要性が確認できた。
  - ・ ホームページ閲覧に導く導線としてのメルマガ配信の有用性が確認できた。

- ・年々mobile、tabletによる閲覧数が増加している傾向が伺える。特に学術集会開催日のmobile、tabletによる閲覧数は、ほぼ逆転していることが確認できた。今後はmobile、tabletに対応する必要がある。

## 8) 平成27年度 JLOM 関連委員会事業報告

### I. ISO/TC249 関連事業

第6回 Plenary meeting (2015年6月1日～4日 北京) に参加し、鍼灸領域の国際規格策定に関わる協議に参画した。各WGにおいて中心的な役割を果たしたメンバーは以下の通り。

- 1) WG3 鍼と鍼領域の安全性：新原寿志
- 2) WG4 鍼以外の医療機器の安全性：木村友昭・形井秀一・渡邊大祐
- 3) WG5 用語と情報：廣瀬康行・斉藤宗則・東郷俊宏

なお、WG4における灸機器関連の規格策定に対応するために、関連する中国論文3点の翻訳を行った(渡邊大祐氏に委託)。

### II. ISO/TC215 関連事業

1. TC215 Plenary meeting (2015年4月 米国 サンフランシスコ)

以下のメンバーが参画し、国際規格策定に関わる協議に参画した。  
廣瀬康行・東郷俊宏・斉藤宗則

2. TC215 Plenary meeting (2015年11月3～6日 スイス ベルン)

以下のメンバーが参画し、国際規格策定に関わる協議に参画した。  
廣瀬康行・斉藤宗則

なお、本会議では古川拓也氏(UK Kampo communication所属)に通訳業務を委託した。

### III. WHO ICD11 関連事業

日本東洋医学会用語・病名分類委員会と協力してICD11 伝統医学領域の疾病分類作成作業を行った。

### IV. 省庁との折衝・連携

鍼灸領域の標準策定に関する報告を必要に応じて関係省庁(厚生労働省医療機器審査管理室・経済産業省生活文化局・医療機器医薬品総合機構など)に対して行った。

### V. 国際標準化に関わる後進の育成

対応が複雑化していく国際標準事業に対応するため、新規で関わる人材の発掘育成を行った。

## 9) 平成27年度 認定委員会事業報告

### I. 認定講習の審査

支部及び各都道府県研修会からの認定講習申請の審査及び指定通知の発行、HP掲載

## II. 認定審査委員会

1. 第2・7・12回登録更新者（平成27年4月1日付）：31名
2. 第17回登録申請者（認定試験によるもの）：16名

## III. 認定実務委員会の開催

1. 平成27年 4月26日(日) 京都
2. 平成27年 5月28日(木) 京都
3. 平成27年 8月 9日(日) 京都
4. 平成27年 9月 6日(日) 京都
5. 平成27年10月12日(月) 大阪
6. 平成28年 3月 6日(日) 大阪

## IV. 認定登録申請の案内

1. 第18回申請対象者への申請案内：84名12月15日送付（1月15日締切）
2. 第3・8・13回登録者への更新案内：40名 2月1日送付（3月31日締切）
3. 第2・7・12回登録更新保留者：8名 2月1日送付（3月31日締切）

## V. 認定試験委員会

1. 第11回認定試験（第17回登録該当者）受験者数：16名 合格者：16名
  2. 平成27年度（第12回）認定試験実施要綱及び試験問題をHP上に告知
    - 1) 受験申請期間 平成28年1月15日迄
    - 2) 試験期間(提出期間)平成28年1月18日～2月22日
    - 3) 試験問題
      - ①医の倫理 1題
      - ②関係法規・公衆衛生学領域 1題
      - ③鍼灸学史（黄帝内経・難経等の医古文の論考）1題
      - ④鍼灸基礎医学領域 1題
      - ⑤鍼灸臨床医学領域 2題
- 受験者数：7名

## VI. 認定指定研修状況

学会誌発行時に認定指定講習会一覧を同封して発送した

### 10) 平成27年度 グランドデザイン改革推進委員会事業報告

- I. 常務理事会でグランドデザインの具体策をまとめていただくため、グランドデザイン改革推進委員会で、ご検討いただく議題や資料などを作成し、常務理事会での検討が円滑に進行するよう調整した。その結果、平成28年度から
  1. 本部組織の改変
  2. 支部運営の改変が実施される予定となった。

## II. 常務理事会での検討

1. 平成27年4月19日（日） 日本鍼灸会館 4階会議室
2. 平成27年7月26日（日） 日本鍼灸会館 4階会議室
3. 平成28年2月14日（日） 東京医療専門学校代々木校舎

## III. グランドデザイン改革推進委員会の開催

1. 第1回 平成27年 5月30日（土） 日本鍼灸会館 4階会議室
2. 第2回 平成27年10月 4日（日） 日本鍼灸会館 4階会議室
3. 第3回 平成28年 3月26日（土） 日本鍼灸会館 4階会議室

### 11) 平成27年度 スポーツ鍼灸委員会事業報告

#### I. 全日本鍼灸学会ふくしま大会

##### 1. パネルディスカッション開催

平成27年5月23日（土）にパネルディスカッション「東京オリンピック・パラリンピックに向けた鍼灸再考」を主催し、下記の先生方を招聘した。

パネラー；東京スポーツレクリエーション専門学校副学校長	後関 慎司 先生
AC福島ユナイテッド	井上 敦史 先生
アクサ生命保険株式会社	川村 怜 先生
筑波技術大学教授	木下 裕光 先生（司会）

##### 2. 学術大会ブラインドサッカー特別展示

上記のパネルディスカッション会場脇のホワイエにて、ブラインドサッカーの特別展示を行った。

日本ブラインドサッカー協会よりブラインドサッカー体験用ゴーグルとサッカーボール、弱視体験ゴーグル、DVDを貸与してもらい、学会参加者に体験を促した。

##### 3. ふくしま大会ウォーキング・ランニング大会

平成27年5月24日（日）にふくしま大会会場周辺で第1回ウォーキング・ランニング大会を開催した。29名の参加者が5kmのコースを走った。参加費として徴収した金額30,000円は、東日本大震災復興のために日本赤十字社に全額寄付し、平成28年2月1日に領収書を受け取った。

#### II. ホームページ作成

平成27年度より、スポーツ鍼灸委員会のホームページを作成、運用を開始している。

#### III. 北海道大会実行委員会

平成27年11月1日（月）に開催された北海道大会実行委員会に、委員の櫻庭、金子が出席した。

平成28年度の北海道大会において、スポーツ鍼灸委員会では北海道大会実行委員会主催のスポーツ鍼灸関連シンポジウムでの指定発言、ワークショップ、実技セッション、ウォーキング・ランニング大会を企画しており、その打ち合わせと会場視察を行った。

#### IV. スポーツ鍼灸委員会会議

平成27年5月24日、10月15日、平成28年1月21日にそれぞれ委員会会議を行い、スポーツ東洋療法ハンドブックに向けての構造化抄録作成手順の確認を行った。

## V. スポーツ東洋療法ハンドブック

東洋療法学校協会が主体となり改訂版の出版が予定されているスポーツ東洋療法ハンドブックの編集委員として古屋委員長が就任した。また執筆委員として泉、近藤、藤本、金子各委員が参加している。

スポーツ鍼灸委員会は上記書籍においてスポーツ鍼灸のエビデンスについて分担執筆を行う予定。

## VI. スポーツ鍼灸に関する文献のシステマティックレビュー

近藤委員が中心となり、スポーツ鍼灸に関する文献のシステマティックレビューを行っている。当研究は平成27年度の東洋療法試験財団の研究助成金を受けて実施している。その成果は北海道大会のスポーツ鍼灸関連シンポジウムにて中間報告を行い、スポーツ東洋療法ハンドブックにも反映される予定。

12) 平成27年度 WFAS Tokyo/Tsukuba 2016 実行委員会
--

### I. 実行委員会の開催

1. 実行委員会を7回開催した。  
第3回 (2015.4.18)、第4回 (2015.5.24)、第5回 (2015.8.29)、第6回 (2015.11.28)、  
第7回 (2016.1.23)、第8回 (2016.2.13)、第9回 (2016.3.12)
2. 特別プログラム、実技セッション、鍼灸科学セッション、一般演題その他の内容について検討し、決定した。
3. 参加登録、演題募集要項について検討し、決定した。
4. その他の開催に関わることについて検討し決定した。

### II. WFASトロント大会における広報活動

1. 執行理事会で後藤会頭がプレゼンテーションを行った。
2. 国際部メンバーが中心となり、広報ブースにて活動を行った。

### III. 大会ホームページ

大会ホームページを開設し、種々の必要な情報を順次掲載した

### IV. 現地視察

現地視察を2回行った。

### V. WFAS本部事務局との対応

大会開催に関してWFAS本部事務局と種々のコミュニケーションをとった。

### VI. その他

特記事項なし

# 決 算 報 告 書

## 平成27年度

( 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日 )

① 貸 借 対 照 表

② 正 味 財 産 増 減 計 算 書

③ 正 味 財 産 増 減 計 算 書 内 訳 表

④ 財 産 目 録

⑤ 注 記 表

⑥ 附 属 明 細 書

**公益社団法人全日本鍼灸学会**

東京都豊島区区南大塚3-44-14 日本鍼灸会館3F

公益社団法人日本翻訳学会

平成27年度末(平成28年3月31日現在)

貸借対照表

(金額単位:円)

	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	42,727,089	50,862,860	△ 7,875,881
手形預金	265,718	289,762	△ 24,048
普通預金	36,461,753	44,313,188	△ 7,851,835
定期預金	6,000,000	6,000,000	0
前払金	14,120,855	5,232,067	8,888,998
未収金	73,678	214,778	△ 141,099
流動資産計	56,921,630	56,949,793	871,817
<b>2. 固定資産</b>			
<b>基本財産</b>			
定期預金	13,000,000	13,000,000	0
基本財産計	13,000,000	13,000,000	0
<b>特定資産</b>			
特定資産積立預金	17,846,291	17,844,977	3,314
特定資産計	17,846,291	17,844,977	3,314
<b>固定資産計</b>	30,846,291	30,844,977	3,314
<b>資産合計</b>	87,768,921	86,994,770	875,131
<b>II. 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	308,000	432,786	△ 124,786
預り金	91,363	60,564	30,799
前受金	2,496,290	2,930,438	△ 439,758
前受金費	5,066,000	5,266,000	△ 165,000
流動負債計	7,943,643	8,628,388	△ 678,745
<b>負債合計</b>	7,943,643	8,628,388	△ 678,745
<b>III. 正味財産</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
指定正味財産計	0	0	0
<b>2. 一般正味財産</b>			
一般正味財産計	79,820,258	78,366,382	1,853,876
(うち基本財産への充当額)	(13,000,000)	(13,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(17,846,291)	(17,844,977)	3,314
<b>正味財産計</b>	79,820,258	78,366,382	1,853,876
<b>負債及び正味財産計</b>	87,768,921	86,994,770	875,131



公益社団法人日本鍼灸学会

平成27年度 正統財源増減計算書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

(単位:円)

	平成27年度	平成26年度	増減
<b>I 一般正統財源増減の部</b>			
<b>1. 経費増減の部</b>			
<b>1. 経費収益</b>			
基本財産運用収益	2,800	3,200	△ 750
基本財産利息収益	2,800	3,200	△ 750
基本財産預金利息収益	2,800	3,200	△ 750
入会金	1,270,000	1,465,000	△ 190,000
入会金	1,270,000	1,465,000	△ 190,000
正会員入会金	1,270,000	1,465,000	△ 190,000
賛助会員入会金	0	0	0
会費	36,573,000	35,633,500	△ 60,350
会員会費	36,238,000	35,158,500	△ 98,750
正会員会費	29,715,000	29,630,000	△ 65,000
準正会員会費	8,488,000	8,388,500	△ 99,750
賛助会員会費	900,000	1,000,000	△ 100,000
特別会費	188,000	120,000	△ 38,000
会員退会戻金	318,000	478,000	△ 150,000
正会員退会戻金	300,000	340,000	△ 40,000
準正会員退会戻金	15,000	15,000	0
賛助会員退会戻金	0	0	0
事業収入	28,884,103	33,253,473	△ 4,369,370
雑益-学術大会収益	22,065,359	23,809,683	△ 1,744,324
特別費	15,283,350	17,854,921	△ 2,058,871
雑益	2,370,000	1,480,000	1,090,000
雑益	0	0	0
正統財源送料	3,278,000	4,194,700	△ 416,700
雑収益	163,109	688,041	△ 524,932
会員旅行事業収益	10,848	0	10,848
旅行費バックナンバー	10,848	0	10,848
基本費収益	14,862	5,604	7,958
基本費収益	14,862	5,604	7,958
文部科学省収益	4,860,834	4,995,807	△ 139,273
文部科学省収益	4,860,834	4,995,807	△ 139,273
認定NPO会費収益	1,993,000	4,837,000	△ 2,844,000
認定者会費	200,000	200,000	△ 20,000
認定者送料	930,000	1,440,000	△ 2,610,000
認定者雑費	860,000	830,000	250,000
DVD販売収益	57,000	47,000	10,000
雑収益	1,746,503	2,192,819	△ 447,316
受取利息	9,283	18,238	△ 8,955
運用財産利息	9,283	18,238	△ 8,955
広告料	1,870,000	1,480,000	80,000
広告料	1,870,000	1,480,000	80,000
雑収益	168,350	687,683	△ 521,333
雑収益	168,350	687,683	△ 521,333
経費収益計	68,435,306	73,444,943	△ 5,009,738
<b>2. 経費費用</b>			
事務費	58,040,568	65,935,695	△ 2,915,127
会費管理経費	6,332,358	5,828,880	△ 503,478
会費	6,263,059	5,271,393	△ 1,258,334
印刷代	9,337,257	8,282,817	954,440
経費管理費	4,343,818	4,235,132	78,773
旅費交通費	8,212,872	8,628,838	△ 312,966
文部科学省	11,028,161	5,338,652	1,687,609
補助金	2,487,802	3,131,171	△ 724,169
文部科学省	140,530	800,000	△ 659,470
大会	2,430,850	2,885,766	△ 413,200
大会	4,937,446	5,168,682	△ 240,956
学術大会	1,067,351	1,115,816	△ 58,386
学術大会	40,000	30,000	△ 9,999
経費管理	1,230,300	1,273,787	△ 55,487
交通費	487,342	228,687	260,335
雑費	183,808	273,614	△ 89,806
管理費	8,880,762	8,138,281	2,744,481
役員報酬	488,000	588,000	△ 83,000
給与手当	1,720,489	1,473,629	240,890
会費	128,411	38,034	88,477
印刷代	686,300	835,179	△ 176,979
旅費交通費	2,873,831	1,403,648	1,469,983
印刷代	209,255	118,840	93,486
事務費	372,669	820,484	△ 52,186
経費管理	982,872	589,537	413,135
学術大会	770,166	483,345	286,921
経費管理	426,262	364,639	81,435
印刷代	170,138	84,897	135,231
雑費	136,589	78,290	58,799
経費費用計	66,921,330	67,091,073	△ 170,846
当別経費増減額	1,853,878	5,450,968	△ 4,897,090
<b>2. 経費外増減の部</b>			
<b>1. 経費外収益</b>			
経費外収益計	0	0	0
<b>2. 経費外費用</b>			
経費外費用計	0	0	0
当別経費外増減額	0	0	0
当別一般正統財源増減額	1,353,878	5,450,968	△ 4,897,090
一般正統財源増減額	78,268,382	71,815,413	6,450,969
一般正統財源増減額	78,268,382	71,268,382	1,353,878
<b>II 指定正統財源増減の部</b>			
当別指定正統財源増減額	0	0	0
指定正統財源増減額	0	0	0
指定正統財源増減額	0	0	0
<b>III 正統財源増減</b>	<b>78,268,382</b>	<b>78,268,382</b>	<b>1,353,878</b>

公益社団法人全日本鍼灸学会

平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日) 正統財源増強計算書内訳表

公益目的事業

- ※1 鍼灸医学に関する研究の進捗等及を踏まえ、学術大会、支那学術委員会などを実施する事業。
- ※2 鍼灸医学の学術の向上と普及を図るための調査、資料収集を行う事業。
- ※3 鍼灸医学の学術の振興を図るための出版事業。
- ※4 鍼灸医学の普及普及を図るため学術誌などの発行、鍼灸医学の普及を図るための事業。

公益事業等

学会が指定する認定公益施設を育成するため、学会自前5年以上の正会員で前1年定額会費を納付したものが施設利用を認め施設費を付与する事業、及び学会会員の提供する研究業績に対して表彰する事業。

法人会計

法人会体の管理、運営にあたるための管理部門。

(金額単位:円)

	公益目的事業等(経路別)内訳					公益事業等合計	法人会計	内訳合計	総計額
	※1	※2	※3	※4	小計				
Ⅰ一般正統財源増強の部									
1. 教育増強の部									
1. 教育収益									
基本財産運用収益	819	181	47	93	1,240	88	1,264	0	2,600
基本財産利息収益	819	181	47	93	1,240	88	1,264	0	2,600
基本財産預金利息収益	819	181	47	93	1,240	88	1,264	0	2,600
入会金	468,862	97,976	24,166	68,897	639,901	44,118	590,887	0	1,270,000
入会金	468,862	97,976	24,166	68,897	639,901	44,118	590,887	0	1,270,000
正会員入会金	468,862	97,976	24,166	68,897	639,901	44,118	590,887	0	1,270,000
賛助会員入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	13,433,883	2,706,936	834,328	1,337,149	18,312,296	1,370,282	17,047,411	0	36,873,000
会員会費	13,316,848	2,706,936	834,328	1,337,149	18,205,261	1,370,469	16,990,882	0	36,538,000
正会員会費	10,995,823	2,271,399	664,058	1,099,299	14,960,579	1,032,143	13,826,358	0	29,715,000
学生会員会費	2,017,867	418,482	164,167	292,471	2,893,007	180,624	2,693,379	0	5,488,000
賛助会員会費	314,187	66,311	34,218	23,649	418,365	21,261	400,000	0	800,000
早中会費	85,991	11,847	2,943	5,730	105,511	3,389	78,127	0	163,000
会員連年次会費	115,821	24,977	5,978	11,626	157,402	10,941	148,539	0	313,000
正会員連年次会費	114,206	20,331	5,984	11,669	152,290	10,429	139,860	0	296,000
学生会員連年次会費	8,815	1,108	284	655	10,862	612	8,679	0	17,000
事業収益	26,895,999	0	0	10,648	26,917,395	2,006,282	0	0	28,923,677
組合・学術大会収益	22,095,699	0	0	0	22,095,699	0	0	0	22,095,699
参加費	15,283,350	0	0	0	15,283,350	0	0	0	15,283,350
出版費	3,579,600	0	0	0	3,579,600	0	0	0	3,579,600
懇学会	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広告知示料	3,979,800	0	0	0	3,979,800	0	0	0	3,979,800
雑収益	183,149	0	0	0	183,149	0	0	0	183,149
会員付付事業収益	0	0	0	10,648	10,648	0	0	0	10,648
発行物・パンフレット	0	0	0	10,648	10,648	0	0	0	10,648
商本質収益	0	0	0	0	0	14,282	0	0	14,282
商本質収益	0	0	0	0	0	14,282	0	0	14,282
文芸的著作収益	4,869,934	0	0	0	4,869,934	0	0	0	4,869,934
参加費	4,869,934	0	0	0	4,869,934	0	0	0	4,869,934
監事委員会事業収益	0	0	0	0	0	1,889,000	0	0	1,889,000
固定資産売却	0	0	0	0	0	300,000	0	0	300,000
固定資産売却	0	0	0	0	0	300,000	0	0	300,000
固定資産売却	0	0	0	0	0	300,000	0	0	300,000
DVD販売収益	0	0	0	0	0	87,000	0	0	87,000
雑収益	437,066	406,323	285,823	398,682	1,527,902	4,089	31,702	0	1,743,663
受取利息	3,402	797	175	343	4,727	321	4,306	0	9,288
定期貯蓄利息	3,402	797	175	343	4,727	321	4,306	0	9,288
広告費	393,600	393,600	393,600	393,600	1,576,800	0	0	0	1,576,800
広告費	393,600	393,600	393,600	393,600	1,576,800	0	0	0	1,576,800
雑収益	61,164	12,715	3,167	5,139	82,175	3,778	77,397	0	166,280
雑収益	61,164	12,715	3,167	5,139	82,175	3,778	77,397	0	166,280
経費収益計	41,222,609	2,826,376	1,113,269	1,394,739	44,656,993	3,227,219	17,021,264	0	61,475,266
	69,200,648	4,612,996	1,628,998	2,624,776	78,167,418	4,899,908	29,079,684	0	102,147,000



公益社団法人全日本鍼灸学会

平成27年度末(平成28年3月31日現在)

財産目録

(単位)円

貸借対照表科目	勘定- 勘定号	科目記号等	金額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			42,707,000
債権- 千円未満			805,720
借入金			38,481,383
有価証券			1,464,066
	みずほ銀行大塚支店 普通預金	預貯金	
	りそな銀行大塚出店 普通預金	預貯金	
	三井住友銀行池袋東口支店 普通預金	預貯金	
	三井住友銀行池袋支店 普通預金	預貯金	
	ゆうちょ銀行 普通預金	預貯金	
	ゆうちょ銀行 振替預金	預貯金	
	りそな銀行大塚出店 普通預金	預貯金	
	ゆうちょ銀行 普通預金	預貯金	
	ゆうちょ銀行 振替預金	預貯金	
	ゆうちょ銀行 振替預金	預貯金	
	ゆうちょ銀行 振替預金	預貯金	
	りそな銀行大塚出店 普通預金	預貯金	
	有価証券付預出票等 普通預金	預貯金	
	みずほ銀行池袋支店 普通預金	預貯金	
	りそな銀行大塚出店 普通預金	預貯金	
	ゆうちょ銀行 振替預金	預貯金	
	北野銀行早稲中央支店 普通預金	預貯金	
定期預金			4,500,000
	りそな銀行大塚支店 定期預金	預貯金	
	ゆうちょ銀行 定期預金	預貯金	
未収入金			79,379
貸付費用			79,379
	貸付費用	貸付費用未収入金	
	第65回学歴大会開催費 費用 雑	既に代金を支払った平成28年度決算の経費	
流動資産合計			86,821,639
2. 固定資産			
① 基本財産			
基本財産(固定資産)			
	三井住友銀行池袋支店 定期預金	公益目的保有財産であり、個人名義において使用	3,000,000
	三井住友銀行池袋東口支店 定期預金	公益目的保有財産であり、個人名義において使用	18,000,000
基本財産合計			21,000,000
② 特定資産			
資本基金積立預金			
	みずほ銀行大塚支店 定期預金	公益事業である高木重基金のための積立金	7,215,181
学歴大会等特別振替積立金			
	ゆうちょ銀行 定期預金	公益目的保有財産であり、鍼灸師等の学歴向上を目的とする学歴大会等に帰属する公益目的保有財産であり、鍼灸師等の学歴向上を目的とする学歴大会等に帰属する	3,000,000
	りそな銀行大塚出店 普通預金		7,830,000
			0
特定資産合計			17,645,181
固定資産合計			38,645,181
資産合計			125,466,820
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
	未払いの経費	未払給付	100,000
	未払消費税等	平成27年度未払消費税- 未払地方消費税	800,000
買入金			
	給与- 報酬関係経費等	役員等への報酬関係経費	81,360
買入金			
	第65回学歴大会参加費	既に金額の受領を受けた平成27年度学歴大会参加費	2,400,380
買入負債			
	平成28年度徴収金	既に金額の受領を受けた平成28年度の会費	3,060,000
流動負債合計			7,441,740
負債合計			7,541,740
正味財産			117,925,080

財務諸表に対する注記

平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1. 継続事業の前途に関する注記

該当事項はありません。

2. 重要な会計方針

①、消費税等の処理方法

税引方式によっております。

②、リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引は賃貸借処理によっております。

3. 基本財産及び特定資産の増減および残高は次のとおりであります。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加分	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
定期預金	13,000,000	0	0	13,000,000
<b>基本財産合計</b>	<b>13,000,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>13,000,000</b>
科目	前期末残高	当期増加分	当期減少額	当期末残高
<b>特定資産</b>				
高木賞賛庫	7,010,440	1,702	0	7,012,142
名簿発行積立預金	3,000,000	0	3,000,000	0
国際シンボリア創立金	7,884,537	1,562	7,836,099	0
学術大会等開催準備積立金	0	10,836,099	0	10,836,099
<b>特定資産合計</b>	<b>17,844,977</b>	<b>10,838,413</b>	<b>10,836,099</b>	<b>17,848,291</b>

4. 基本財産及び特定資産の対価等の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債対応額)
<b>基本財産</b>				
定期預金	13,000,000	0	(13,000,000)	0
<b>基本財産合計</b>	<b>13,000,000</b>	<b>0</b>	<b>(13,000,000)</b>	<b>0</b>
科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債対応額)
<b>特定資産</b>				
高木賞賛庫	7,012,142	0	(7,012,142)	0
名簿発行積立預金	0	0	0	0
国際シンボリア創立金	0	0	0	0
学術大会等開催準備積立金	10,836,099	0	(10,836,099)	0
<b>特定資産合計</b>	<b>17,848,291</b>	<b>0</b>	<b>(17,848,291)</b>	<b>0</b>

5. 担保に供している資産

該当事項はありません。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

減価償却対象固定資産はありません。

7. 保証債務等の偶発債務

該当事項はありません。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに繰上償還、時価及び評価損益

債券等の有価証券は保有していないため、該当事項はありません。

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の交付を受けていないため、該当事項はありません。

10. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金を設けていないため、該当事項はありません。

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産がないため、該当事項はありません。

12. 関連当事者との取引の内訳

該当事項はありません。

13. 重要な後発事業

該当事項はありません。

**公益社団法人全日本鍼灸学会**

平成27年度(平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日)

**附属明細書**

**1. 基本財産及び特定資産の明細**

基本財産及び特定資産の明細につきましては、「財務諸表の注記」の箇所に記載しております。

**2. 引当金の明細**

引当金の計上は行っておりません。

## 監査報告書

平成28年4月24日

公益社団法人 全日本鍼灸学会  
会長 後藤 修司 殿

公益社団法人 全日本鍼灸学会  
監事 宮本 俊和 ㊟

公益社団法人全日本鍼灸学会の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。

その方法及び結果について、以下のとおり報告致します。

## 1、監査の方法及びその内容

監事は、役職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、また重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及び附属明細書について検討致しました。

更に、当該事業年度に係る財務諸表（貸借対照表及び正味財産増減計算書・同内訳表）及び附属明細書、並びに財産目録について検討致しました。

## 2、監査の結果

## (1) 事業報告等の監査結果

①事業報告書及び附属明細書は、法令及び寄附行為に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重要な事実は認められません。

## (2) 財務諸表及び附属明細書並びに財産目録の監査結果

監査の結果、適切に作成されているものと認めます。

以 上

## 第3号議案 役員改選の件

---

### 役員改選の件

---

任期満了に伴い、(公社)全日本鍼灸学会役員(理事・監事)候補者の選任は下記により行われました。

1. 平成27年10月1日付けで告示
2. 一般からの立候補者は、届出期間(平成27年10月1日より10月14日)内に届出がなかった。
3. 理事会推薦理事候補者及び理事会推薦監事候補者は諮問委員の信任投票等の結果次ぎの通りとなった。

(五十音順)

理事候補者(20名)

石崎 直人、石川慎太郎、伊藤 和憲、市村由美子、稲垣 吉一、尾崎 朋文、  
坂本 歩、佐々木 勝、志野 治美、清水 洋二、津田 昌樹、東郷 俊宏、  
鳥谷部創治、中沢 良平、久光 正、福田 文彦、古屋 英治、山口 智、  
山崎浩一郎、若山 育郎

監事候補者(2名)

安藤 文紀、山下 仁



## 第4号議案 規程の変更

---

### 公益社団法人全日本鍼灸学会 役員選任規程（案）

---

#### （目的）

第1条 この規程は、公益社団法人全日本鍼灸学会（以下、「学会」という）の定款第22条に規定する役員選任の執行に関する事項を定める。

#### （役員）

第2条 学会の役員は、定款第21条に規定する理事及び監事をいう。

#### （役員任期）

第3条 理事及び監事の任期は、1期2年とし、再任を妨げない。ただし、理事は連続して再任される場合は4期8年を超えることはできず、また監事は連続して2期4年を超えることはできない。

2. 公益法人の設立時において、従前から引き続いて役員に就任した場合の任期は、通算して算出する。

#### （役員選出）

第4条 役員を選任は、諮問委員会において次期役員候補（次期理事・次期監事）を選出し、総会の承認を得て選任するものとする。

2. 次期理事は、理事候補者（立候補者並びに理事会で選出した者）の中から選挙により選出した13～18名及び次期会長が指名した2名とする。
3. 次期監事は、監事候補者（立候補者並びに理事会で選出した者）の中から選挙により選出した2名とする。
4. 選挙の告示は、改選年の前年12月末日までに理事会が行う。

#### （選挙）

第5条 選挙は、候補者の中から選挙人（諮問委員）の投票によって、次期理事13～18名・次期監事2名を選出する。

2. 選挙は、郵送による無記名投票によって行い、諮問委員会で開票する。
3. 選挙は、諮問委員数の3分の2以上の投票をもって有効とする。

#### （選挙管理委員会）

第6条 選挙管理委員会は、委員7名で構成する。

2. 委員は、正会員の中から理事会が指名する。但し、役員及び候補者を除く。
3. 委員は、互選により委員長及び副委員長各1名を選出する。
4. 委員会は、委員長が召集し、選挙執行に関する事項を協議し、その事務を行う。
5. 委員会は、選挙の告示を行うときに設置し、次期役員決定により解散する。
6. 委員会は、選挙人名簿及び候補者名簿を作成する。
7. 委員会は、候補者の氏名、経歴及び所信等を作成し、選挙人に発送する。

#### （立候補者及び被推薦者の資格）

第7条 候補者の資格は、次の基準のいずれかに該当する正会員とする。

- (1) 学会に5年以上継続して在籍し、全日本鍼灸学会雑誌に研究論文を筆頭者として1篇以上発表した者
- (2) 本会役員又は学術大会長の経歴を有する者
- (3) 諮問委員会（旧評議委員会）通算2期以上の経歴を有する者
- (4) 理事会で鍼灸あるいは医学に関する学識経験者と認められた者
- (5) 学会に10年以上継続して在籍し、諮問委員2名以上の推薦を受けた者

(立候補の届出)

第8条 理事又は監事の立候補者は、所定の期日内に選挙管理委員会に届け出なければならない。

2. 理事会は、立候補者以外に候補者を選出することができる。但し、被選出者が辞退したときはこれを取り消すものとする。
3. 理事会において選出された候補者は、所定の期日内に会長に届け出なければならない。
4. 会長は、理事会選出の理事候補者並びに監事候補者を所定の期日までに選挙管理委員会に届け出なければならない。

(投票の実施)

第9条 投票の方法は郵送によって行い、郵送先は選挙管理委員会宛（学会事務局内）とする。

2. 投票は、定数連記とし記号式（○印を付する方式）によるものとする。但し、改選者数を超過して○印を付した投票は無効とする。

(開票)

第10条 開票並びに集計は、諮問委員会の議場において行わなければならない。

2. 議長は、選挙管理委員会に開票並びに集計を行わせる。
3. 開票立会人は、若干名とし、出席諮問委員の中から議長が指名する。
4. 議長は、集計の結果を監査した上、得票数の上位から役員改選数に満つる員数をもって次期役員当選者と決定し、議場にこれを報告しなければならない。但し、得票数が同数のため改選者数を超過する場合、出席諮問委員による無記名投票により決定する。
5. 次期役員当選者の決定後、総会までの間に辞退又は資格喪失があったときは、投票による次点者、理事会指名理事の次点者をもって順次次期役員予定者とする。

信任投票で次点者がいない場合は理事会で選任することができる。

(次期役員予定者の決定)

第11条 次期役員は次のとおり決定する。

2. 次期理事当選者が決定後直ちに互選により次期会長候補者を選出し、次期会長候補者は2名以内の次期理事予定者を指名する。

(規程の変更)

第12条 この規程は、理事会、総会の議決を経なければ変更することはできない。

## 附 則

1. 規程は、平成9年6月8日の総会決議により改正し、施行する。
2. 平成7年6月3日施行の「役員選任規程」は、本規程発効と同時に失効する。
3. 本規程は、平成11年6月12日の総会決議により一部改正し、施行する。
4. 平成12年6月9日における定款施行規則の一部改正に伴い、この規程の条文のうち「ブロック」を「支部」に改めるとともに、その整合性のために一部変更。
5. 本規程は、平成13年6月9日の総会決議により改正し、施行する。
6. 本規程は、平成23年3月20日の理事会、平成24年6月9日の総会決議により改正し、公益社団法人登記の日より施行する。
7. 本規定は、平成27年11月29日の理事会、平成28年6月11日の総会決議により一部改正し、施行する。

第5号議案 名誉会員の件

第6号議案 その他

## I. 平成28年度事業計画

### 1. 平成28年度 事業計画（総括）

I. 事業の内容：公益社団法人の目的を遂行するために次の事業を行います。

#### 公益目的事業と認定された事業

1. 鍼灸医学に関する研究の進歩普及を図るため、学術大会、支部学術集会などを実施する
  - 1) 第65回（公社）全日本鍼灸学会学術大会（北海道大会）の開催  
平成28年6月10日（金）～12日（日）の3日間：札幌コンベンションセンター
  - 2) WFAS Tokyo/Tsukuba 2016 の開催  
平成28年11月5日（土）、6日（日）の2日間：つくば国際会議場
  - 3) 支部学術集会及び支部研修会の開催
  - 4) 学術大会実行委員会への参加及び企画調整
  - 5) 学会発表応募抄録の審査委員会の開催
2. 鍼灸医学の学術の向上と普及を図るため調査、資料収集を行う事業
  - 1) 鍼灸の有用性・安全性・経済性に関する情報の収集と発信
  - 2) 国民のための鍼灸医療推進機構（AcuPOPJ）の活動参加
  - 3) データベース委員会：JACLIDの充実、維持管理文献評価研修会の継続
3. 鍼灸医学の学術の振興を図るための助成事業
  - 1) 公募研究助成の継続
  - 2) 公募により国際学会に会員派遣
4. 鍼灸医学の発展普及を図るため学術雑誌などの発行や鍼灸医学の情報を公開する事業
  - 1) 全日本鍼灸学会雑誌の発行：年4回発行（66巻2号～67巻1号）
  - 2) オンライン英文雑誌の発行
  - 3) 学会ホームページによる情報発信
  - 4) メールマガジン、FAXマガジンの配信

#### 収益事業等と認定されたもの

1. 学会が認定する、認定登録鍼灸師を育成するため、学会在籍5年以上の正会員で、別に定める履修基準を満たしたものが、認定試験を経て認定証を付与する事業及び学会会員の優秀なる研究業績に対して表彰する事業
  - 1) 認定指定講座の審査
  - 2) 認定委員会・認定審査委員会・認定試験委員会・認定実務委員会の開催
  - 3) 支部学術集会・A・B講座への助成
  - 4) 認定登録者への認定証の交付
  - 5) 高木賞選考委員会の開催及び高木賞・奨励賞の授与

#### その他の事業

1. 内外の関連学協会との連絡及び協力に関する事業
  - 1) 海外鍼灸関連情報の収集と日本への紹介
  - 2) 日本鍼灸関連情報の海外への紹介
  - 3) 世界鍼灸学会連合会（WFAS）、その他国際機関への対応

- 4) その他
2. その他この法人の目的を達成するために必要な事業
  - 1) 入会審査の実施
  - 2) 支部活動の支援
  - 3) JLOM 関連委員会の活動
  - 4) 鍼灸医学の啓蒙と普及：一般向けの公開講座、講演会の開催

## II. 会議の種類

会務を円滑に運営するために次の会議を行う

1. 通常総会
2. 理事会
3. 常務理事会
4. 顧問参与会議
5. 諮問委員会
6. その他の会議
  - ① 支部運営委員会
  - ② グランドデザイン改革推進委員会
  - ③ 認定委員会
  - ④ 定款等改正検討委員会
  - ⑤ スポーツ鍼灸委員会
  - ⑥ AcuPOPJ 関連委員会
  - ⑦ 研究等人材育成委員会
  - ⑧ 利益相反委員会
  - ⑨ 各部委員会及び小委員会

## III. 諸規則の制定及び改定に関すること

1. 諸規程の見直しと改正
2. 内閣府への報告
3. 諸規定変更に伴う組織変更

---

---

## 2. 平成28年度 各部事業計画

---

---

1) 平成28年度 事務局事業計画
-------------------

### I. 会務運営のための諸会議に関すること及び会議録の作成並びに保管

#### 1. 通常総会

平成28年 6月 11日（土）：札幌コンベンションセンター

#### 2. 諮問委員会

平成28年 6月 10日（金）：札幌コンベンションセンター

#### 3. 理事会

1) 平成28年 4月 24日（日）：日本鍼灸会館

2) 平成28年 6月 10日（金）：札幌コンベンションセンター

3) 平成28年 6月 12日（日）：札幌コンベンションセンター

4) 平成28年 7月 24日（日）：日本鍼灸会館

5) 平成29年 2月 12日（日）：日本鍼灸会館

#### 4. 常務理事会

1) 平成28年 6月 12日（日）：札幌コンベンションセンター

2) 平成28年 11月 20日（日）：日本鍼灸会館

#### 5. その他の会議

##### 1) 支部運営委員会

1) 平成28年 6月10日（金）：札幌コンベンションセンター

2) 平成28年 7月24日（日）：日本鍼灸会館

##### 2) グランドデザイン改革推進委員会

##### 3) 認定委員会

##### 4) 定款等改正検討委員会

##### 5) 鍼灸学術団体協議会

##### 6) スポーツ鍼灸委員会

##### 7) 施術事故等緊急対策連絡会

##### 8) 選挙管理委員会

##### 9) 各部委員会及び各部小委員会

### II. 庶務、事務局及び職員に関すること

#### 1. 事務局備品、事務消耗品等の在庫管理

#### 2. 会員情報の管理

#### 3. 会員入退会の対応と処理

#### 4. 通信文書等の処理

### III. 官公庁及び鍼灸関連団体との渉外に関すること

#### 1. 官公庁、諸団体からの文書、書簡の整理、保管及び対応

#### 2. 内閣府へ報告、書類提出

#### 3. 鍼灸関連団体との連絡調整

#### 4. 商標登録更新

## IV. 監事による理事の職務執行監査作成

## V. その他、他部の所管に属さない事項

## 2) 平成28年度 学術部事業計画

## I. 学術部の基本方針

鍼灸における「学」と「術」を根拠に基づいた医療（EBM: evidence-based medicine）、根拠に基づいた鍼灸医療（EBAM: evidence-based acupuncture medicine）として質を高め、患者に安全で効果的な鍼灸医療を実践できるための成果発表や情報交換、卒前・卒後教育の場、「学会に参加して勉強になった」という学会・学術大会を目指す。

- ・エビデンスに基づく「学」と「術」を発展させるための場の企画・提供
- ・エビデンスに基づく卒後教育・生涯教育としての場の企画・提供

## II. 学術大会における企画・方向性：学術的議論企画、鍼灸社会学的企画(社会貢献・啓蒙的な企画)、生涯教育・人材育成企画

## 1. 「学」と「術」の質の向上（研究過程・成果の発表、ディスカッション、批判的吟味の場の提供）

- 1) 学術大会における一般演題の企画：演題募集、抄録審査、演題採否、セッション、座長選任
- 2) 学術大会におけるパネルディスカッション、シンポジウムの企画：実行委員会と調整
- 3) 学術大会における研究の方向性を考える企画：研究委員会と調整

## 2. 最新の鍼灸・医療情報提供（鍼灸師教育）

- 1) 学術大会におけるセミナーの企画
- 2) 学術大会における教育セミナーの企画

## 3. 根拠に基づいた鍼灸医療が実践できる鍼灸師育成（卒後）

- 1) 学術大会におけるワークショップの企画

## 4. これからの鍼灸師を育てる（卒後教育）

- 1) 学術大会におけるゼミナールの企画

2016年北海道大会における本部・学術部・研究部の継続した企画（予定）

- ・セミナー(ここまでわかった鍼灸医学)：学術部
- ・教育セミナー：学術部
- ・公募シンポジウム：会員からシンポジウムを募集
- ・他学会との共催シンポジウム：実行委員会・学術部
- ・パネルディスカッション：スポーツ委員会関連
- ・パネルディスカッション：医療推進関連
- ・パネルディスカッション(鍼灸と国際問題)：JLOM関連委員会
- ・ワークショップ(ステップアップ鍼灸臨床研究)：学術部、研究部
- ・ワークショップ(安全性委員会、データベース委員会)：研究部
- ・ゼミナール(鍼灸臨床ゼミナール)：学術部
- ・サテライトステップアップセミナー：学術部
- ・チャリティーマラソン大会：スポーツ鍼灸委員会主催
- ・その他：高木賞表彰式、高木賞授賞講演、学生ポスター発表、学生ポスター表彰式



- ・会議関係：理事会、支部運営委員会、顧問参与会議、諮問委員会、鍼灸学術団体協議会

### III. 学術部の事業計画

#### 1. 学術部委員会の開催（年2回予定）

学術部の基本方針、事業計画案及び具体的なアクションプランを策定するために委員会を開催する。

#### 2. 学術大会の企画・支援

##### 1) 第65回（公社）全日本鍼灸学会学術大会（北海道支部：平成28年、2016年）

平成28年6月10日（金）－12日（日）「札幌コンベンションセンター」

企画調整委員会・実行委員会の企画、準備支援

##### 2) 第66回（公社）全日本鍼灸学会学術大会（関東支部：平成29年、2017年）

平成29年6月9日（金）－11日（日）「東京大学構内」（金曜日：会議のみ、学術大会は土日）

企画調整委員会・実行委員会の立ち上げ、企画、準備支援

##### 3) 一般演題：演題募集、抄録審査、セッション作成、座長選任等

学生ポスター発表：発表審査、表彰式等

##### 4) 抄録審査委員会の開催

抄録審査委員会を開催する。

※学術大会運営規定の見直しと支部運営委員会における開催地決定の調整

#### 3. 支部学術集会について

支部の学術集会が充実・発展するよう相談・協力等の支援を行う。

#### 4. 高木賞選考委員会の開催

故高木健太郎会長から寄贈された基金をもって、優秀な研究論文に対し高木賞を授与するために高木賞選考委員会を高木賞選考規程に則り実施する。

### IV. 「グランドデザイン2020」に基づく改革状況

#### 1. 学術大会の見直し

平成29年開催の第66回（公社）全日本鍼灸学会学術大会（関東支部担当）から新たな学術大会を目指して検討する。

具体的な見直し内容（案）

- ・大会開催期間
- ・大会会場
- ・参加費
- ・大会企画
- ・他学会との連携企画（シンポジウムの共催など）
- ・基礎研究者のための企画の充実
- ・一般演題における英語セッションの企画（英語ができる鍼灸師の育成：国際部との連携）など

#### 2. 日常臨床に役立つ最新の知識や技術が習得できる企画、立案、実施

（スキルアップセミナー、e-ラーニング含む）

現在、学術大会時にスキルアップセミナーを有料（学会参加費と別料金、認定）にて実施しているが、会員の卒後教育のための企画を検討する。また、その卒後教育が学会の収入源の一部になるシステムで構築する。

3) 平成28年度 研究部事業計画

I. 学術大会に関する事業

1. 第65回学術大会（北海道）でのワークショップ開催（研究部単独および学術部共同）
2. 第65回学術大会（北海道）での第7回日韓鍼とEBMワークショップ開催（国際部と共同）
3. WFAS Tsukuba/Tokyo 2016 開催への参画（国際部、学術部その他の部門と共同）

II. 鍼灸の研究・教育・啓発に関する事業

1. データベース委員会  
JACLIDの維持管理・機能充実、文献評価研修会の継続、北海道大会でワークショップ開催
2. 安全性委員会  
安全性に関する情報の収集と整理、Webサイト管理・更新、北海道大会でワークショップ開催、有害事象に関する多施設前向き調査のデータ分析、安全対策eラーニングの試行
3. 診療ガイドライン委員会  
鍼灸診療ガイドラインの検討、他領域の診療ガイドラインの鍼灸に関する記載内容の検討
4. その他  
鍼灸の有効性・安全性・経済性に関する情報の収集と発信  
国民のための鍼灸医療推進機構（AcuPOPJ）への協力

III. その他

1. 第65回北海道大会実行委員会および第66回東京大会実行委員会への協力
2. 他の部署との共同・連携作業
  - 1) 編集部・広報部との連携によるJACLIDおよびJ-Stageへの本学会誌収載
  - 2) ISO/TC249安全教育関連（JLOM関連委員会と共同）
  - 3) 学術部との共同ワークショップ
3. 研究部・学術部の再編

4) 平成28年度 編集部事業計画

I. 学会誌の編集、広告、発行、配布に関すること

1. 学会誌の発行
  - 1) 66巻2号（平成28年 5月末発行予定）
  - 2) 66巻3号（平成28年 8月発行予定）
  - 3) 66巻4号（平成28年11月発行予定）
  - 4) 67巻1号（平成29年 2月発行予定）
2. JAMのJ-STAGEへのデータアップ
3. JAMのPMC収載に向けての準備  
英語論文数の拡充
4. 編集委員会

- 第1回 平成28年 5月開催予定
- 第2回 平成28年 8月開催予定
- 第3回 平成28年11月開催予定
- 第4回 平成29年 2月開催予定

## II. 学会誌の原稿・資料の収集に関すること

- 1. 投稿原稿、依頼原稿の収集
- 2. 第65回学術大会（北海道）企画の原稿収集
- 3. その他、学会員の学術向上に寄与する解説、総説等の原稿依頼とその収集

## III. 電子投稿への移行

エディトリアルマネージャーを導入して、投稿受付から掲載に至る作業を電子化する。

## IV. 学会誌への投稿規程やデータベースに関すること

- 1. 投稿規程の見直しと整備

### 5) 平成28年度 組織部事業計画

- I. 会員情報の管理（事務局）
- II. 学生会員から正会員への入会促進（広報部）
- III. 関連学会からの入会促進（広報部）
- IV. 入会促進 学生勧誘セミナーの開催（広報部）
- V. 組織改革関連事業（理事会）
- VI. IT化の強化（広報部、学術部、研究部）
- VII. 会議（逐次）

### 6) 平成28年度 国際部事業計画

- I. 海外鍼灸関連情報の収集と日本への紹介
  - 1. 学会誌の「世界の鍼灸コミュニケーションズ」シリーズ、「国際学会報告」シリーズを継続する。
- II. 日本鍼灸関連情報の海外への紹介
  - 1. 英語版ホームページのさらなる改訂と充実を行う。
  - 2. 海外研究発表助成の公募、審査、派遣を行う。

### III. 世界鍼灸学会連合会 (WFAS)、その他の国際機関への対応

1. World Federation of Acupuncture and Moxibustion Societies (WFAS) 2016年東京／つくば大会実行委員会に協力する。
2. 第7回日韓鍼とEBMワークショップ（北海道大会期間中に開催）を研究部と連携して開催する。
3. 世界の鍼灸研究・教育の状況を正確に会員に伝えるため、定点観測的に海外の学会、公的機関の活動をモニターする。

### IV. 国際部会議開催

学会理事会に連動して国際部会議を定期的に行う。

### V. その他

## 7) 平成28年度 広報部事業計画

#### I. Webの維持管理

1. 本会 Web サイトサーバーの維持管理（業者に依頼）
2. 本会 Web サイト CMS 更新管理（業者、広報部員の協力）
3. 本会 Web サイト SSL によるセキュリティー管理（業者に依頼）
4. 支部学術集会・研修会等の情報収集及び告知
5. Web サイト内容整理
6. メールマガジンリスト維持管理

#### II. 学術大会 Web サイトの管理

学術大会 Web サイトの運用及び学会 Web サイトとの連携等の補助

#### III. メールマガジン登録者数（特に学校教員）増加促進計画

メールマガジン登録者数増加を促進させるための広報キャンペーンを展開  
Web サイト、Facebook 等を活用して会員内外（特に学校教員）未登録者に対して、登録促進を図る。

#### IV. メールマガジン・FAX マガジン発行・配信

『お知らせ』、『トピック』、『学術大会情報』、『支部集会の開催告知』、『理事会議事録更新情報』などは随時配信、A・B・C 講座紹介配信は毎月1日発行で、会員を中心に配信

#### V. e-ラーニングシステム構築・コンテンツ作成

学会 Web サイト上に誰でも学習できる研修会動画再生・確認テスト（e-ラーニング）のコンテンツを配置し、会員及び非会員の学習の機会を増やす目的で行う。（コンテンツ作成は他部署との共同作業となります）

#### VI. 情報共有及び蓄積ツールの導入

理事間の情報共有をより円滑にし、更に必要な情報を蓄積・検索できるようにするための Web 上のツールの導入を行う。

## VII. アンケート調査実施

学術大会、支部集会時にアンケート調査を行う。

## VIII. 一般向け・会員向け・海外向け案内告知ツールの作成

## IX. 海外からの日本鍼灸見学者受け入れ窓口

海外からの日本鍼灸見学者受け入れについて、国際部と共同で受け入れ先の紹介や滞在中のフォローを行う。

## X. 会議の開催

必要に応じて開催

### 8) 平成28年度 JLOM 関連委員会事業計画

#### I. ISO/TC249 (IEC/TC62) における鍼灸領域の国際規格策定会議への参加

1. 第7回 Plenary meeting (5月または6月、開催地：ローマ)
  2. WG3、WG4 会議 (日程未定)
  3. WG3、WG4 で扱う案件 (鍼電極低周波治療器、皮内鍼、安全性関連規格等)  
Project leader との会議
- \* 上記3 については IEC/SC62D への対応含む
- \* 上記2, 3 については日本開催も視野において検討する。日本で開催する場合、経済産業省からの助成金、JLOM 予算、また企業からの協賛金を募り、JSAM 単独の予算支出とはしないように配慮する。
- \* ISO/TC249 WG3 で鍼灸領域の安全性に関する規格策定が scope に含まれることが決定したことから日本としても JSAM 研究部安全性委員会メンバー等と連携を図り ISO 会議での提案や他国提案への対応を行う。

#### II. WHO ICD (国際疾病分類作成) 事業への対応

1. ICD Chapter 23 の Field trial 等の事業に協力する (伝統鍼灸学会との連携)
2. 2016年11月に開催される WHO-FIC 会議への協力
3. 1, 2 以外の ICD 関係プロジェクトへの協力、国際会議への出席

#### III. ISO/TC215 における鍼灸領域の国際標準策定会議への参加

1. TC215 Meeting (4月：アムステルダム、10月：未定) への参加と鍼灸関連案件への対応 (関連する国内会議を含む)

#### IV. 鍼灸領域の国際標準策定に関する情報収集と国内対応会議の開催

1. 医療機器の標準策定に関する情報収集と国内対応 (IEC/SC62D への対応含む)
  2. 国内外における鍼灸教育 (教科書など) および鍼灸領域の安全性の標準策定に関する情報収集と対応
  3. 鍼灸用語・情報の標準策定 (WHO/ICTM、ISO/TC215) に関する情報収集と国内対応
  4. 各国の鍼灸関連諸制度に関する情報収集
- \* 上記事業に関しては関連する学会の部署と連携を取りながら行う。

## V. 国外における鍼灸領域の標準策定の現状調査

国際部、研究部との協力の下に、必要な調査を実施する。

## VI. 伝統医学の国際標準策定の現況に関する啓蒙活動の実施

1. WHO, ISOでの国際標準策定に関わる経緯、現況、展望に関する outreach の実施
2. 医療情報学分野の標準化に関する workshop の実施

## VII. 標準策定に関係する省庁への連絡

鍼灸領域の標準策定に関する報告を必要に応じて関係省庁（厚生労働省医療機器審査管理室・経済産業省生活文化局・医療機器医薬品総合機構など）に対して行う。

### 9) 平成28年度 認定委員会事業計画

#### I. 認定講習の審査

支部学術集会・A・B 研修及び地方団体（グループを含む）認定講習申請に対する審査及び指定通知の発行

#### II. 認定審査委員会の開催

認定登録者の審査

#### III. 認定実務委員会の開催

新認定制度概要検討推進

#### IV. 認定試験委員会の開催

認定試験問題の作成及び試験の実施と合否判定

#### V. その他

認定指定講習会一覧（学会誌同封）の発行

### 10) 平成28年度 グランドデザイン改革推進委員会事業計画

#### I. 事業内容

1. 各部作成の事業計画案、予算案をJSAMグランドデザイン2020の観点から評価する。
2. JSAMグランドデザイン2020実現のため、各部に提案、要望をおこなう。
3. JSAMグランドデザイン2020実現のため、学会活動を評価し、理事会に提案・要望を行う。

#### II. グランドデザイン改革推進委員会の会議日程

1. 第1回 6～7月 事業計画・予算作成について各部へ依頼する内容の検討
2. 第2回 10～11月 各部の案に対する提案・要望の作成
3. 第3回 12～1月 各部の案に対する提案・要望の作成
4. 第4回 2～3月 事業計画、予算の評価と次年度計画の検討

### Ⅲ. 常務理事会への出席

11) 平成28年度スポーツ鍼灸委員会事業計画
-------------------------

#### Ⅰ. 学術大会（北海道）での活動

1. パネルディスカッションの開催
  - (1) ウィンタースポーツにおける鍼灸施術の応用（仮題）
  - (2) 北海道大会実行委員会との共同開催
2. スポーツ鍼灸に関する展示の開催
3. 学術大会（北海道）でのウォーキング&ランニング大会の開催

#### Ⅱ. 書籍発行

1. スポーツ東洋療法ハンドブックの作成  
（公社）東洋療法学校協会と共同で掲載の出版に向けた業務を継続する。  
なお出版期日の予定は平成29年度中としている。
2. スポーツ鍼灸委員会の開催予定
  - 第1回 平成28年 6月開催予定
  - 第2回 平成28年10月開催予定
  - 第3回 平成29年 1月開催予定

#### Ⅲ. スポーツ鍼灸研究の資料の収集に関すること

1. 書籍発行に伴う資料収集
2. ホームページのリニューアルに関する資料収集

12) 平成28年度WFAS Tokyo/Tsukuba 2016実行委員会事業計画
--

#### Ⅰ. WFAS Tokyo/Tsukuba 2016広報、募集、運営

1. ホームページ、SNSその他のメディアを通じて広報を行う。
2. 演題、募金・寄付・広告を募集する。
3. 参加登録に関する運営を行う。
4. 講演要旨集を作成する。
5. 11月4日（金）執行理事会、5日（土）～6日（日）大会運営、7日（月）ポストカンファレンス運営を行う。

#### Ⅱ. 実行委員会開催

定期的に実行委員会を開催する（年間4回予定）。

#### Ⅲ. その他

公益社団法人全日本鍼灸学会

平成28年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日) 収支予算書

単位単位:円

	①:平成28年度 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)	②:平成27年度 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)	増減額(①-②)	備考
<b>I 指定非営利活動法人の部</b>				
<b>1. 経費増減の部</b>				
<b>1. 経費収益</b>				
基本財産増減利益	3,900	3,900	0	
基本財産減損利益	3,900	3,900	0	
基本財産増減利益の差	3,900	3,900	0	
入会金	1,830,000	1,830,000	△ 100,000	
入会金	1,830,000	1,830,000	△ 100,000	
入会費入会金	1,830,000	1,830,000	△ 100,000	
更新費入会金	0	0	0	
会費	37,330,000	40,340,000	△ 3,010,000	
会費会費	36,730,000	39,840,000	△ 3,110,000	
正会員会費	36,000,000	39,000,000	△ 3,000,000	
準正会員会費	6,730,000	4,840,000	△ 1,890,000	
賛助会員会費	1,120,000	840,000	280,000	
特別会費	180,000	180,000	0	
会員退会年会費	200,000	200,000	0	
正会員退会年会費	200,000	200,000	0	
事業収益	71,670,100	57,790,100	43,870,000	
組合・学術大会収益	36,700,000	31,600,000	5,100,000	
講演費	12,200,000	14,800,000	△ 2,600,000	
懇話会	2,200,000	3,000,000	△ 800,000	
広野講義料	4,200,000	2,000,000	△ 2,200,000	
雑収益	380,000	30,000	350,000	
国産パン・パン(PVA(MP)製パン)	38,000,000	0	38,000,000	
講演費	28,000,000	0	28,000,000	
懇話会	1,000,000	0	1,000,000	
広野講義料	2,000,000	0	2,000,000	
寄付金等	5,000,000	0	5,000,000	
会員刊行事業収益	2,000	2,000	0	
刊行物のサブスクリプション	2,000	2,000	0	
販売費収益	5,000	5,000	0	
貸付収益	5,000	5,000	0	
大塚労働会	1,200,100	4,000,100	2,800,000	
香取会	1,200,100	4,000,100	2,800,000	
株式会社自由事業収益	1,000,000	1,200,000	200,000	
株式会社	200,000	200,000	△ 300,000	
株式会社	700,000	600,000	100,000	
株式会社	100,000	600,000	△ 500,000	
DVD製作費	30,000	30,000	0	
雑収益	2,240,000	2,240,000	0	
貸付収益	20,000	20,000	0	
貸付収益	20,000	20,000	0	
貸付	2,000,000	2,000,000	0	
雑収益	20,000	20,000	0	
雑収益	20,000	20,000	0	
雑収益合計	118,707,000	73,007,000	45,700,000	
<b>2. 経費費用</b>				
事業費	114,000,000	64,584,614	50,220,000	
会費管理費	8,720,240	6,300,000	△ 2,420,240	
会費	22,240,200	4,820,200	△ 17,420,000	
印刷広告費	12,000,204	12,000,204	0	
通信費	9,400,000	9,400,000	0	
図書費	11,240,000	9,870,000	1,370,000	
文具印刷費	36,127,844	12,840,700	23,287,144	
印刷費	2,440,000	2,110,000	330,000	
大塚労働会	2,200,000	600,000	1,600,000	
香取会	1,600,000	3,900,000	△ 2,300,000	
本館員人件費(固定福利費含む)	5,000,000	4,800,000	200,000	
役員・職員給与	0	0	0	
報酬等	1,100,000	1,600,000	△ 500,000	
報酬等	40,000	70,000	△ 30,000	
報酬等	700,000	1,400,000	△ 700,000	
退職金	80,000	30,000	△ 50,000	
雑費	41,000	20,000	△ 21,000	
事業費	114,000,000	64,584,614	50,220,000	
管理費	6,940,100	3,621,100	△ 3,319,000	
役員報酬	300,000	600,000	△ 300,000	
本館員人件費(固定福利費含む)	1,100,000	1,200,000	△ 100,000	
会費	77,000	20,000	△ 57,000	
印刷広告費	600,000	600,000	0	
図書費	2,200,000	2,800,000	△ 600,000	
文具印刷費	100,000	100,000	0	
印刷費	200,000	200,000	0	
大塚労働会	600,000	600,000	0	
香取会	10,000	700,000	△ 690,000	
報酬等	1,000,000	1,000,000	0	
雑費	20,000	20,000	0	
雑費	20,000	20,000	0	
管理費	6,940,100	3,621,100	△ 3,319,000	
経費費用合計	120,940,100	73,007,000	48,933,100	
大塚労働会	△ 7,000,000	0	△ 7,000,000	
<b>2. 経費増減の部</b>				
<b>1. 経費外収益</b>				
経費外収益	0	0	0	
<b>2. 経費外費用</b>				
経費外費用	0	0	0	
事業経費外費用	0	0	0	
税金等	0	0	0	
第一級国庫補助金	△ 7,000,000	0	△ 7,000,000	
一般財源交付金	70,000,000	63,000,000	7,000,000	
一般財源交付金	70,000,000	63,000,000	7,000,000	
<b>II 指定非営利活動法人の部</b>				
市県指定正職員給与	0	0	0	
市県指定正職員給与	0	0	0	
市県指定正職員給与	0	0	0	
<b>III 正社員給与</b>				
	70,000,000	63,000,000	7,000,000	

※ 平成28年度に計上する△7,000,000円の経費は特定受託費として充当する。



公益社団法人全日本鍼灸学会

平成28年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日) 収支予算内訳表

公益目的事業

- ※1 鍼灸医学に関する研究の進捗管理を図るため、学術大会、実用学術委員会などを実施する事業。
- ※2 鍼灸医学の学術の向上と普及を図るため調査、資料収集を行う事業。
- ※3 鍼灸医学の学術の振興を図るための出版事業。
- ※4 鍼灸医学の発展普及を図るため学術雑誌などの発行や、鍼灸医学の情報を公開する事業。

収支事業等

学術大会等から、固定経費補助金を受給するため、学術大会の年以上の正会員で、別に定める経費基準を満たしたものが、固定経費を経て固定経費分とする事業及び学会会員の優秀なる研究業績に対して表彰する事業。

法人会計

法人会員の管理、運営にあたるための管理部門。

(金額単位：円)

	全日本鍼灸学会新年度別(7月別)				小計	収支差額合計	法人会計	内訳科目別	当年度
	28	29	30	31					
1 一般行政経費等									
1. 経費等									
1. 経費等									
基本財産増減	1,082	91	0	48	1,221	25	1,225	0	2,900
基本財産減損	1,082	91	0	48	1,221	25	1,225	0	2,900
基本財産減損戻金	1,082	91	0	48	1,221	25	1,225	0	2,900
入会金	645,585	58,772	37,081	28,235	770,773	15,742	744,452	0	1,520,000
入会金	645,585	58,772	37,081	28,235	770,773	15,742	744,452	0	1,520,000
正会員入会金	627,273	58,064	29,734	27,869	743,000	15,838	734,452	0	1,500,000
賛助会員入会金	18,312	718	747	566	20,783	207	10,000	0	20,000
会費	15,583,089	1,346,227	734,639	681,673	18,345,628	385,438	18,333,094	0	37,220,000
会費会費	15,583,089	1,346,227	734,639	681,673	18,345,628	385,438	17,991,213	0	36,700,000
正会員会費	12,717,082	1,101,868	594,092	557,569	15,000,611	310,777	14,689,833	0	30,000,000
準会員会費	2,227,034	201,868	139,547	124,104	2,732,553	69,661	2,663,895	0	5,000,000
賛助会員会費	498,973	42,591	21,000	16,000	578,564	11,000	569,000	0	1,200,000
基年会費	42,489	3,878	1,980	1,529	50,876	1,000	49,876	0	100,000
会費増年費会費	212,487	18,713	9,021	3,291	243,512	5,179	244,821	0	600,000
正会員増年費会費	212,487	18,713	9,021	3,291	243,512	5,179	244,821	0	600,000
事業収益	75,189,140	0	0	2,400	75,191,540	1,487,000	0	0	71,475,100
協会・学術大会収益	56,765,000	0	0	0	56,765,000	0	0	0	56,765,000
単日費	19,000,000				19,000,000				19,000,000
法学会	2,200,000				2,200,000				2,200,000
正会員研修	4,200,000				4,200,000				4,200,000
雑収益	385,000				385,000				385,000
附属センター収入(収入)	38,000,000	0	0	0	38,000,000	0	0	0	38,000,000
単日費	19,000,000				19,000,000				19,000,000
法学会	1,000,000				1,000,000				1,000,000
正会員研修	1,000,000				1,000,000				1,000,000
寄付金等	1,000,000				1,000,000				1,000,000
会員向け事業収益	0	0	0	2,000	2,000	0	0	0	2,000
付行額/バックナンバー				2,000	2,000				2,000
高木賞収益	0	0	0	0	0	5,000	0	0	5,000
高木賞収益						5,000			5,000
支障対応収益	4,883,140	0	0	0	4,883,140	0	0	0	4,883,140
単日費	4,883,140				4,883,140				4,883,140
固定費委員会事業収益	0	0	0	0	0	1,486,000	0	0	1,486,000
固定費委員						1,486,000			1,486,000
固定費委員						1,486,000			1,486,000
固定費委員						1,486,000			1,486,000
DVD固定費収益						30,000			30,000
雑収益	51,586	436,488	525,783	654,744	2,128,601	414	18,886	0	2,348,000
受取利息	4,488	734	386	272	5,880	237	8,793	0	20,000
運用資産利息	4,488	734	386	272	5,880	237	8,793	0	20,000
正会員	825,000	825,000	825,000	825,000	3,300,000	0	0	0	3,300,000
正会員	825,000	825,000	825,000	825,000	3,300,000				3,300,000
雑収益	4,488	734	386	272	5,880	237	8,793	0	20,000
雑収益	4,488	734	386	272	5,880	237	8,793	0	20,000
雑収益合計	57,482,242	2,247,328	1,392,541	1,547,100	62,669,211	1,898,732	59,801,377	0	112,757,800
	78,954,428	1,973,485	1,399,945	1,390,078	81,838,936	1,988,978	16,733,878		

金額単位: 円

	会務目的事業会計(経費内訳)					公益事業会計	個人会計	内部取引消去	計
	会費	会費	会費	会費	小計				
<b>2. 経費費用</b>									
学費費	96,776,287	7,799,121	4,245,225	3,888,427	112,709,060	1,806,190	0	0	114,505,250
会費徴収経費	5,686,145	0	0	0	5,686,145	30,000	0	0	5,716,145
会費徴収	22,448,654	294,810	54,723	24,717	22,823,904	30,250	0	0	22,854,154
印刷広告費	8,056,028	1,244,316	1,222,479	1,242,521	12,765,344	316,136	0	0	13,081,480
送付印刷費	6,073,270	1,232,946	277,549	282,289	8,866,054	247,482	0	0	9,113,536
読書交際費	9,671,022	975,218	283,225	142,124	11,071,629	41,423	0	0	11,113,052
文芸学費	26,681,829	970,277	427,419	1,268,687	29,348,212	280,000	0	0	29,628,212
贈答品費	2,112,821	112,228	23,489	12,277	2,260,815	142,251	0	0	2,403,066
支払手数料	0	1,400,200	1,290,000	0	2,690,200	280,000	0	0	2,970,200
会費	0	1,400,200	0	0	1,400,200	0	0	0	1,400,200
事務員人件費(労務委託費含む)	5,167,642	142,768	94,076	62,291	5,466,777	111,426	0	0	5,578,203
事務員賃金	1,187,284	28,452	20,129	12,623	1,248,488	23,225	0	0	1,271,713
福利手当費	45,141	1,182	229	205	47,757	221	0	0	48,000
退職金費	663,260	14,991	12,629	11,896	702,776	14,200	0	0	717,000
交際費	78,952	1,275	1,289	1,229	82,745	1,228	0	0	84,000
旅費	28,451	207	699	679	30,036	220	0	0	30,256
事務員計	96,776,287	7,799,121	4,245,225	3,888,427	112,709,060	1,806,190	0	0	114,505,250
管理費	0	0	0	0	0	0	6,248,120	0	6,248,120
役員報酬	0	0	0	0	0	0	300,000	0	300,000
事務員人件費(労務委託費含む)	0	0	0	0	0	0	1,122,465	0	1,122,465
会費徴収	0	0	0	0	0	0	77,475	0	77,475
印刷広告費	0	0	0	0	0	0	631,806	0	631,806
読書交際費	0	0	0	0	0	0	2,234,422	0	2,234,422
贈答・印刷品費	0	0	0	0	0	0	125,729	0	125,729
事務員賃金	0	0	0	0	0	0	240,221	0	240,221
送付印刷費	0	0	0	0	0	0	627,229	0	627,229
福利手当費	0	0	0	0	0	0	10,228	0	10,228
退職金費	0	0	0	0	0	0	1,072,202	0	1,072,202
交際費	0	0	0	0	0	0	14,222	0	14,222
旅費	0	0	0	0	0	0	6,225	0	6,225
管理員計	0	0	0	0	0	0	6,248,120	0	6,248,120
経費費用計	96,776,287	7,799,121	4,245,225	3,888,427	112,709,060	1,806,190	6,248,120	0	121,003,300
当期経費増減額	△ 9,294,229	△ 5,646,582	△ 2,542,764	△ 2,441,297	△ 19,924,229	60,272	11,062,227	0	△ 7,893,660
<b>3. 経外増減の部</b>									
<b>1. 経外収益</b>									
経外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>2. 経外費用</b>									
経外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
集金引当額	40,226	0	0	0	40,226	△ 40,226	0	0	0
当期一般正味財産増減	△ 9,294,229	△ 5,646,582	△ 2,542,764	△ 2,441,297	△ 19,924,443	40,226	11,062,227	0	△ 7,893,660
一般正味財産増減									70,462,222
一般正味財産期末残高									70,462,222
<b>II 特定正味財産増減の部</b>									
当期特定正味財産増減									0
特定正味財産期末残高									0
特定正味財産期末残高									0
<b>III 正味財産期末残高</b>									
									70,462,222

※ 平成27年度に於ける△7,893,660円の減額は特定正味財産及び繰上り金として発生する。

---

---

## 公益社団法人全日本鍼灸学会 会務運営規程

---

---

### (目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人全日本鍼灸学会(以下、「学会」という)の定款第23条の規定に基づき、会長の権限に属する会務を分掌し、適正円滑な運営を図ることを目的とする。

### (各部構成)

第2条 学会は、次の各部を設置し会務を分掌する。

- 1 財務部            2 学術研究部        3 教育研修部
  - 4 編集部            5 組織部            6 国際部            7 広報部
2. 各部に委員会を置く。但し、理事会の議決により作業部会又は班を置くことができる。

### (担当副会長)

第3条 副会長は、それぞれ次の部門を担当し、業務を統括指揮する。

- (1)管理部門(財務部、組織部、広報部、事務局)
- (2)事業部門(学術研究部、教育研修部、編集部、国際部)

第4条 各部に部長1名を置くほか、副部長2名及び委員若干名を置く。但し、会長が必要と認めた場合、副部長を2名とすることができる。

2. 部長は常務理事をもって当て、専任とし、会長がこれを委嘱する。
3. 副部長及び委員は、部長が指名し、理事会の承認を得て、会長がこれを委嘱する。
4. 委員は正会員をもって当てる。

### (職務および権限)

第5条 部長は、所管会務を掌理し、各部を司掌する。

2. 副部長は、部長を補佐し、部長に事故ある時は、その職務を代行する。
3. 委員は、部長のもとに所管会務を処理する。

### (各部委員会)

第6条 各部委員会は、正副部長及び委員をもって構成し、所管会務を協議執行する。

2. 各部委員会は、各部長が招集する。
3. 部長は、各部委員会の会議の経過及び結果、各部の活動内容を会長に書面で報告しなければならない。
4. 担当副会長は、必要に応じて担当の各部委員会に出席するものとする。

### (作業部会・班)

第7条 部長は、各部の所管会務の実施内容を検討し、具体的活動を行うため、作業部会又は班を置くことができる。

2. 作業部会又は班の構成員は若干名とし、当該部委員及び正会員の中から、部長の指名により会長が委嘱する。

(会務分掌)

第8条 各部の会務分掌は、次の通りとする。

(1) 財務部

1. 予算に関する事
2. 決算に関する事
3. 財産の管理に関する事

(2) 学術研究部

1. 学術大会全体の運営、企画、支援に関する事
2. 支部学術集会に関する事
3. ~~鍼灸学術団体協議会に関する事~~
3. 鍼灸学研究の促進支援、情報収集、交流に関する事
4. 鍼灸学領域における本学会の学問的見解に関する事
5. その他学術研究に関する事

(3) 教育研修部

1. 学会の認定制度の企画調整、運営、評価に関する事
2. 学術大会での教育研修に関する企画（セミナー、ワークショップなど）
3. その他、教育研修に関する事

(4) 編集部

1. 学会誌の編集、広告、発行、配布に関する事
2. 学会誌に関する原稿・資料の収集に関する事
3. 学術図書及び資料の刊行に関する事
4. その他編集に関する事

(5) 組織部

1. 組織の拡充及び会員の増強に関する事
2. 組織管理、会員名簿の整備、作成、発行に関する事
3. 支部との連絡、調整に関する事
4. 調査及び情報・資料の収集に関する事
5. その他組織に関する事

(6) 国際部

1. 国外における関係団体との連絡、調整に関する事
2. 国外における関連領域の情報及び文献収集に関する事
3. 世界保健機関及び世界鍼灸学会連合会との連絡、調整に関する事
4. 国際学会及び会議派遣に関する事
5. その他国際に関する事

(7) 広報部

1. 学会ホームページの編集に関する事
2. 会報の発行に関する事
3. 鍼灸学会の普及広報に関する事
4. 学会IT関連の管理に関する事

第9条 定款第49条の規定により事務局を置く。

事務局は理事会を補佐し法人の事務を処理する。

各部に属さない事項についてはその事務を行う。

1. 諸会議に関する事(総会、理事会、常務理事会、諮問委員会)
2. 会議録の作成及び保管に関する事
3. 庶務、事務所及び職員に関する事

4. 官公庁及び鍼灸関連団体との渉外に関する事
5. 予算・決算の補助業務に関する事
6. その他会計事務に関する事

(職 員)

第10条 この法人の事務を処理するため、事務局及び必要な職員を置く。

2. 職員は、理事会の議決により会長が任免する。
3. 職員は、有給とする。

(規程の変更)

第11条 この規程は、理事会の議決を経なければ変更することができない。

附 則

1. この規程は、平成12年6月9日より施行する。
2. 学会の旧会務運営規程は、本規程の施行と同時に失効する。
3. 平成15年11月9日開催の平成15年度第3回理事会において一部改正
4. 平成16年3月21日開催の平成15年度第5回理事会において一部改正
5. 平成17年6月11日開催の平成17年度総会決議により一部改正
6. 平成20年7月16日持回り理事会により一部改正
7. 平成27年5月22日理事会において一部改正
8. 平成28年2月14日理事会において一部改正

---

---

公益社団法人全日本鍼灸学会 委員会規程

---

---

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人全日本鍼灸学会（以下、「学会」という。）の定款第39条に基づき、委員会の設置と適正円滑な運営を図ることを目的とする。

(設置)

第2条 理事会の議決により委員会を設置することができる。

(委員会)

第3条 委員会は以下の通りとする。

1. 諮問委員会
2. 認定委員会
3. 選挙管理委員会
4. 支部運営委員会
5. 定款等改正検討委員会
6. 助成事業審査委員会
7. 高木賞選考委員会
8. 鍼灸学術団体協議会
9. 施術事故等緊急対策委員会
10. JLOM関連委員会
11. AcuPOPJ関連委員会
12. 研究等人材育成委員会
13. 利益相反委員会
14. 各部委員会
15. その他

(諮問委員会)

第4条 学会の方針を諮問し役員候補者を選任するため諮問委員会を設置することができる。

2. 諮問委員は1号諮問委員と2号諮問委員よりなる。
3. 1号諮問委員の選任は別に定めた諮問委員選任規程による。
4. 2号諮問委員は理事会で推薦選任された20名以内とする。
5. 諮問委員会は、会長が招集し、事務局が運営する。

(認定委員会)

第5条 認定のための研修、試験、審査などに関することを行う認定委員会を設置する。

2. 認定委員会の運営は、教育研修部と連携して、認定制度規則に基づき実施する。

(選挙管理委員会)

第6条 学会の役員選任につき、役員選任規程に基づき選挙管理委員会を設置する。

2. 選挙管理委員会は、理事会の承認を得て会長が設置し、事務局が運営する。
3. 選挙管理委員会の構成は、諮問委員及び正会員より7名とする。但し、委員が被選挙人となった場合、委員を辞任し、新たに委員を委嘱する。

## (支部運営委員会)

第7条 地域(支部)における学術活動の計画及び実行を行うため、支部運営委員会を設置する。

2. 支部運営委員会の運営は、支部運営委員会規程に基づいて実施する。

## (定款等改正等検討委員会)

第8条 定款及び諸規程の作成、改正を検討するために定款等改正検討委員会を設置する。

## (助成事業審査委員会)

第9条 学会の助成事業が公正、妥当かを審査するため助成事業審査委員会を設置する。

2. 助成事業審査委員会は、会長が招集し、学術研究部長が運営する。
3. 助成事業審査委員会の委員は、学術研究部長が理事会に推薦する。

## (高木賞選考委員会)

第10条 故高木健太郎会長から寄贈された基金をもって、優秀な研究論文に対し高木賞を授与するために高木賞選考委員会を設置する。

2. 高木賞選考委員会は、高木賞選考規程に則り実施する。
3. 高木賞選考委員会は、会長が招集し、学術研究部長が運営する。
4. 高木賞選考委員会の構成は、会長、副会長、学術研究部長、編集部長、理事2名とする。

## (鍼灸学術団体協議会)

第11条 鍼灸医学に関連する学術団体と学会のあり方について検討するために設置する。

2. 鍼灸学術団体協議会は、会長が招集し、事務局が運営する。

## (施術事故等緊急対策委員会)

第12条 鍼灸施術に関する重大な事故などについての対策を検討するために設置する。

2. 施術事故等緊急対策委員会は、会長が招集し、事務局が運営する。

## (JLOM関連委員会)

第13条 JLOM(日本東洋医学サミット会議)の国際標準化事業への人材提供、標準化に関する立案を行うために設置する。

2. JLOM関連委員会は、JLOM(日本東洋医学サミット会議)構成団体及び他鍼灸関連団体と連携し、運営する。
3. JLOM関連委員会の委員は、JLOM関連委員会委員長が推薦する。

(AcuPOPJ関連委員会)

第14条 AcuPOPJ(国民のための鍼灸医療推進機構)の活動の計画、実行を行うため、AcuPOPJ関連委員会を設置する。

2. AcuPOPJ関連委員会は、会長が招集し、事務局が運営する。

(研究等人材育成委員会)

第15条 鍼灸領域の研究、臨床などの各分野を担う人材を育成するための企画運営を行う、研究等人材育成委員会を設置する。

2. 研究等人材育成委員会は、会長が招集し、教育研修部長が運営する。

(利益相反委員会)

第16条 学会における利益相反に関する指針の決定及びその円滑な実施を図るため、利益相反委員会を設置する。

2. 利益相反委員会は、理事会の承認を得て会長が設置し、事務局が運営する。

(各部委員会)

第17条 各部内において常務理事である各部の部長の判断で各部委員会を設置することができる。

2. 各部で設置した委員会は理事会に報告し承認を得なければならない。

(理事会の議決により設置した委員会)

第18条 理事会の議決に基づき、学会事業及び運営に関して重要な事項について委員会を設置する。

2. 委員会の内容、構成等については理事会において決定する。

(構成員の決定)

第19条 委員会の構成員は理事会で決定する。

2. 委員会に委員長と委員をおく。
3. 委員は正会員をもって充てる。
4. 正会員以外の者を委員とする必要がある場合は、前項の規定にかかわらず、理事会の承認により、正会員以外の者を委員とすることができる。
5. 諮問委員会の委員は、委員会規程の第4条第3項と第4項による。

(構成員の任期)

第20条 委員会の構成員の任期は、定款25条による役員の任期に準ずる。ただし、連続して再任される場合は4期8年を超えることはできない。

2. 諮問委員会の委員の任期は、諮問委員会規程の第4条による。

(委員会の改廃)

第21条 委員会の改廃及び構成員等の変更は、理事会で決定する。

(規程の変更)

第22条 この規程は、理事会の議決を経なければ変更することができない。

附 則

1. 本規程は、平成24年3月20日の理事会決議により改正し、公益社団法人登記の日より施行する。
2. 本規程は、平成25年7月28日の理事会決議により一部改正する。
3. 本規程は、平成26年7月27日の理事会決議により一部改正する。
4. 本規定は、平成27年11月29日の理事会決議により一部改正する。
5. 本規定は、平成28年2月14日の理事会決議により一部改正する。



---

---

## 公益社団法人全日本鍼灸学会 支部運営規程

---

---

### 【目的】

第1条 定款第3条の目的を達成するため、支部を設置し、定款第4条の事業を行うために、支部の組織、運営などを規定する。

### 【設置】

第2条 支部設置は、支部運営委員会においての審議を経て、理事会で決定する。  
2. 正会員が100名を超える場合、支部運営委員会に支部設置を申請できる。  
3. 理事会は当法人の事業を遂行に必要と認めた場合は、前項にかかわらず支部設置ができる。

### 【管轄】

第3条 次の支部を設置する。  
2. 支部の名称と構成する都道府県を別表1に定める

### 【支部の事業】

第4条 支部は下記の事業を行う。  
(1) 支部学術集会  
(2) 支部認定講習会  
(3) 理事会により要請された(公社)全日本鍼灸学会学術大会の開催  
(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 【会 員】

第5条 支部の会員は、原則として当該地域に居住または勤務する本学会の正会員とする。

### 【運 営】

第6条 支部運営は、支部長および支部学術委員が行う。  
各支部の構成は次の通りとする。  
(1) 支部長 1名  
(2) 学術委員 10名以内

### 【選 任】

第7条 支部長は理事会において選任される。  
2. 支部学術委員は、支部会員の自薦および本部の支部運営委員の推薦のあった者から、本部の支部運営委員会で10名を選出する。選出された支部学術委員は理事会において決定する。  
3. 本部の支部運営委員長は、支部学術委員の自薦の要項を定めて、本学会ウェブサイトおよびメールマガジンにてその内容を周知し、2週間の期間を定めて会員の自薦を受け付けるものとする。  
4. 支部学術委員に欠員が生じた場合は、支部長が後任を推薦し、本部の支部運営委員会の承認を得る。

【任 期】

第8条 支部長、支部学術委員の任期は、定款25条による役員の任期に準ずる。ただし、連続して再任される場合は4期8年を超えることはできない。

【事業計画・予算】

第9条 支部長は支部事業計画、予算を事務局に提出しなければならない。  
2. 提出された事業計画、予算は理事会での承認を必要とする。

【事業報告】

第10条 支部長は定期的に支部運営委員会において定期的に支部事業報告を行わなければならない。

【決算報告】

第11条 支部長は毎年度末に速やかに支部決算報告を事務局に提出するものとする。

【規程の改廃】

第12条 この規程は理事会の議決を得て変更することができる。

(附 則)

1. 本規程は平成26年7月27日から施行する。
2. 本規程は平成27年5月22日の理事会決議により一部改正する。
3. 本規程は平成28年3月13日の理事会決議により一部改正する。

別表1

支部名	都道府県名
北海道	北海道
東北	青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島
関東	茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟 山梨
中部	富山 石川 福井 長野 岐阜 静岡 愛知 三重
近畿	滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山
中国四国	鳥取 島根 岡山 広島 山口 徳島 香川 愛媛 高知
九州	福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄

第67回学術大会開催地の件

第66回大会準備報告

その他